

まちだの子ども施策

2007（平成19）年度

町田市子ども生活部

ごあいさつ

子どもが健やかに育ち、子育てが楽しくできるまちは、人もまちも輝き、希望があふれるまちです。

子どもは、夢と限りない可能性を抱く将来の大人です。大人になった時に「町田で育ってよかった」と思えるまちづくりのために私は、子どもや子育てに関することを市の最重要課題として取り組んでいます。

町田市は、2004年12月「町田市子どもマスタープラン」を策定し、「子どもが自分らしく安心して暮らせるまちをみんなで創りだす」を基本理念として、地域・企業・行政が一体となって本プランを推進する新たな歩みを始めたところです。今後は、このマスタープランに基づいた施策を着実に実施してまいります。

この「まちだの子ども施策」は、町田市の子どもの状況や子ども施策の概要をまとめたものです。町田市の子ども施策の状況を知るためにご活用いただければ幸いです。

2007年8月

町田市長 石 阪 丈 一

目 次

1 . 2007年度 子ども生活部長の仕事目標	1
2 . 町田市の概要	3
東京都における位置等	3
人口	4
子どもの人口	6
出生数	7
児童人口(0～18歳)の推移	8
就学前児童の状況	9
3 . 町田市の子ども施策の体系	10
(1) 町田市基本構想・基本計画(抜粋)	10
(2) 町田市子どもマスタープラン	11
(3) 町田市子どもマスタープランの基本理念・基本的視点・基本目標	12
(4) 町田市子どもマスタープランの施策体系	14
4 . 子どもマスタープランに基づく各施策の取り組み	15
・基本目標 子どもが健やかに育ち、一人ひとり自分の中に光ものを持っている	16
・重点目標1 子どもの遊びや体験が大切にされ、主体的に参加し意見表明できる	16
・個別目標1 コミュニケーション能力を育てる	16
中学2年生の職場体験	16
・個別目標2 参加と意見表明の場や機会をつくる	16
子どもセンター・子どもクラブの子ども委員会・CFC	16
・個別目標3 救済とやり直しの場や機会を保障する	17
小学校適応指導教室「けやき教室」	17
・重点目標2 大人になっていく力がつくようにする(市民性の形成を育む)	17
・個別目標1 乳幼児期の養護を充実させる	17
・個別目標2 幼児教育を充実させる	17
幼・保・小子ども連絡協議会	17
・個別目標3 学校教育を充実させる	18
小学校1年生学級への生活指導補助者派遣	18
学校ネットワークの整備	18
国際理解教育の推進	18
・個別目標4 思春期の子どもの心と体の健康教育を充実する	18
中学校給食	18
・個別目標5 体験活動から学ぶようにする(文化・スポーツ活動等)	19
青少年施設ひなた村	19
大地沢青少年センター	19
保育室 文学サロントーク ちちんぷいぷい	19
天体望遠鏡をつくる	20
星座早見盤をつくろう・my星座をつくろう	20
楽器講座(超)初級ミュージシャン講座	20
中高生バンドクラブ「BDG」	20
あそぼお～や	20
・基本目標 子どもが安らいでいる家族があり、家族が地域とつながっている	21
・重点目標1 親になる力を身につける	21
・個別目標1 親スタート期を支える	21
妊産婦・乳幼児の健康のための支援	21
若年出産家族支援プログラムの検討	21

・個別目標 2 子育て期を支える	22
子育てひろば	22
ブックスタートの応援	22
おはなし会「おはなしぼっけ」	22
子どもセンター・子どもクラブの子育て支援事業	23
さるびあフェスタ2006	23
・個別目標 3 男女共同の子育てを進める	22
両親学級	22
男性のための料理教室	23
パパといっしょ	23
・個別目標 4 親の悩みを支える	24
地域子育てセンター	24
子育てママのしゃべり場	24
健康課の相談（乳幼児・母性相談、来所相談、電話相談）	24
・重点目標 2 親が働くことを支える	24
保育所入所待機児の解消	25
・個別目標 1 保育支援	25
一時保育	26
病児・病後児保育	26
学童保育クラブ	26
幼稚園の預かり保育	27
ファミリー・サポート・センター	27
・個別目標 2 サービスの質の向上と効果的・効率的な提供の充実	26
公立保育園での「ISO9001」取得の取り組み	28
「ISO9001」とは・・・	28
・重点目標 3 きめ細やかな支援が必要な家族を支える	28
・個別目標 1 障がいのある子どもと家族への支援	28
子ども発達センターすみれ教室	29
特別支援教育の取り組み	29
・個別目標 2 ひとり親家庭への支援	30
ひとり親家庭資格取得講習受講料の助成	29
・個別目標 3 外国籍家族への支援	30
外国語版子育て情報パンフレット	30
・個別目標 4 被虐待児（DV家族児童を含む）と家庭への支援	31
子ども家庭支援センター	31
・基本目標 子どもが地域の中で大切にされている	32
・重点目標 1 人と人が関わりつなげる場をつくる（家庭・施設・学校・地域・行政の協働）	32
・個別目標 1 地域の人材育成と人材活用	32
ジュニアリーダー講座・子どもサークルリーダー研修会	32
地域子ども教室	32
青少年委員	33
アダプト・ア・ロード	33
・個別目標 2 地元事業所・商店の関わり	33
子どもセンターばあんの「子どもまつり」	33
・個別目標 3 体験できる場（多様な体験ができる機会を増やす）	33
青少年健全育成地区委員会	33
のびっこあそび隊	34

忠生公園定例自然観察会・かしの木山自然公園夏休み子ども自然教室	34
一日図書館員	34
・個別目標4 交流できる場(子どもや子育てをしている人がふれあい情報交換できる場をふやす)	34
子どもセンター・子どもクラブ	34
冒険遊び場への補助	34
・個別目標5 子どもセンター・地域子育てセンターを中心とした地域づくり	35
・重点目標2 一人ひとりに情報が確実に届く	35
・個別目標1 子どもと親への情報を確保する	35
子育てひろばカレンダー	35
町田市公式ホームページ・キッズページ	35
子育て情報誌「のびっこ」	36
・重点目標3 みんなで安全・安心のまちをつくる	36
・個別目標1 子どもの安全・安心を確保する	36
子ども110番の家	36
自転車運転教室	36
セーフティ教室	37
・個別目標育2 子育てしやすいまちづくりをする	37
みんなのおでかけマップ	37
5. 次世代育成支援対策推進法による特定14事業の状況	38
1. 通常保育事業	38
2. 放課後健全育成事業(学童保育クラブ)	39
3. 病後児保育事業(施設型)	39
4. 病後児保育事業(訪問型)	39
5. 一時保育事業	40
6. 延長保育事業	40
7. 休日保育事業	40
8. 子どものショートステイ事業	40
ショートステイ、トワイライトステイ	41
9. 子どものトワイライトステイ事業	41
10. 地域子育て事業(保育園の子育てひろば事業)	41
11. 集いの広場事業	41
12. 特定保育事業	41
13. 夜間保育事業	41
14. ファミリー・サポート・センター	41
6. 子どもマスタープランの施策体系外の子どもに関わる事業	42
7. 町田市の組織	43

巻末資料

- (1) 保育園位置図 一覧表
- (2) 学童保育クラブ/子どもセンター/子どもクラブ位置図 一覧表
- (3) 幼稚園位置図 一覧表

1. 2007年度 子ども生活部長の仕事目標

子ども生活部長 寺内 恵一

部の使命・基本方針

子どもたちが健やかに育ち、子育てが楽しくできるまちは、人もまちも輝き、希望があふれるまちです。地域の人たちみんなが、子どもの育ち・子育てに興味を持ち、安全・安心な地域と、主体的な子ども、主体的な市民が育つまちをつくっていきます。

目標設定に至った背景(現状と課題)

家族機能の低下、近隣との人間関係の希薄化など、子どもを取り巻く環境は大きく変わり続けています。そして、家族の生活スタイルそのものも変わってきています。

これにより、育児に不安を抱える親が増えるとともに、虐待やいじめ、引きこもりなど、子どもや子育て家庭をめぐる深刻な問題が後を絶ちません。

当市では、2007年1月1日現在、0歳から14歳までの年少人口は56,379人です。合計特殊出生率の低下が示すように、少子化の進行も大きな社会問題となっており、抜本的な少子化対策が望まれているところです。

2004年度には、子どもや家族に関する施策の基本的な方向を示す「子どもマスタープラン」を策定し事業に取り組んでいます。

今後は、このプランに基づいた施策を着実に実施していきます。

一方、国・都の補助金の交付金化に伴う再構築など、財政負担も増加し、厳しい状況にあります。そのため、なお一層の組織の効率的な運営および市民との協働を推進して行きます。

中・長期目標

【重点目標】

子どもが健やかに育つ環境の整備

- ・様々な保育のニーズに対応する
 - * 保育所待機児童の解消を目指し、保育施設等の整備を進める。
 - * 認定子ども園設置の促進
 - * 預かり保育の拡充
- ・学童保育クラブの新設、既存施設の整備
 - * 1小学校区1学童保育クラブの設置 2008年度整備率100%、施設の再整備
- ・子どもセンターの整備

市内5地区に地区ごとに1箇所のこどもセンターの設置

子育てサポート体制の充実

- ・子どもの居場所づくり 家庭・地域・学校等が一体となった、子どもの居場所づくりの推進
- ・きめ細やかな支援が必要な家庭を支える。障がいのある子どもと家族への支援・地域子育て支援・育児支援

【マネジメント目標】

事務事業の効率化・最適化

- ・電算入力単純作業への対策（多様な雇用形態・委託等の活用など）
- ・福祉総合システムの更改・構築
- ・ISO マネジメントシステムの公立保育園への波及

事務事業の公平性・透明性の向上

- ・情報公開の推進（待機児保護者への情報公開等）

課長の「仕事目標」の設定

（注）重点目標とは、政策課題や重点事業に視点を置いた目標であり、マネジメント目標とは組織内部の効率化や生産性の向上に視点を置いた目標です。

（注）「部長の仕事目標」は、2006年度よりスタートした制度です。町田市公式ホームページの「トップページ」「市の取り組み」「部長の仕事目標」からもご覧いただくことができます。

【2007年度の取り組み】

	取組項目	具体的内容	目標・指標
1	待機児童の解消	保育園の創設、分園の設置、定員の弾力化を実施するとともに、園舎の老朽化に伴う建替え等を行い、待機児童の解消を図ります。また、2008年度も分園設置等、2009年度待機児童ゼロの実現に向け事業を実施していきます。	創設1園、分園1園、建替えへの着手
2	学童保育クラブの整備	1小学校区1学童保育クラブの設置目標に基づき、新たに今年度1小学校区に整備します。また、児童数増加による学校施設整備に併せて建替えをします。	新設1カ所、建替え1カ所
3	「認定子ども園」の推進 (注)	子育て中の親の様々な保育サービスニーズに応える為、東京都は2006年12月「東京都認定子ども園の認定基準に関する条例」を制定、それを受けて町田市においても「(仮)町田市認定子ども園運営費補助等補助金交付要綱」を2007年9月に制定し開園の推進を図ります。	2008年度、開園に向けて2007年度3園と協議
4	子どもセンターの整備	子どもセンターの5館構想に基づき、相原地区に3号館の建築工事に着手します。また、忠生子どもセンターの建設に向け、地元との協議を進めていきます。	本体工事
5	子どもの居場所作り	検討委員会で検討して、全児童を対象にした居場所作りのあり方の具体策を10月に示します。	答申の作成
6	こんにちは赤ちゃん事業(生後4ヶ月までの全戸訪問事業)の実施	産後の母子に対する支援策を検討するため、新たに検討会を設置します。	実施手順の作成
7	「預かり保育充実事業」の拡大	幼稚園児の保護者が就労等で子どもの保育ができない場合、幼稚園において、通常の教育時間を含め11時間の保育を行なってもらえる園の拡大を図ります。	2006年度6園 2007年度3園追加
8	すみれ教室の療育の充実	利用児・者のニーズの把握、利用増に伴う対応、関係機関との連携などのあり方を検討します。	満足度調査の実施・すみれ教室内検討会設置
9	施設開放による子育て支援	学童保育クラブの施設を開放して乳幼児と保護者が、自由にのびのび遊べる場を提供します。	8施設

2 . 町田市の概要

	内 容
市 政 施 行	1958年2月1日東京都で9番目、全国で504番目に市制施行。
位 置 ・ 地 勢	東京都の南端にあって、半島のように神奈川県に突き出ています。市のほぼ全域が多摩丘陵に含まれ、市域の平面形は丘陵の西南線に沿う狭長な形態になっています。地質は、主として表面5～15mの関東ローム層におおわれています。
広 ば う	東西22.3km 南北13.2km
海 抜	最高363m 最低27m
面 積	71.63km ² (2007年1月1日現在)
世 帯 数	173,570世帯 (2007年4月1日現在)
人 口	413,398人 (2007年4月1日現在)
人 口 密 度	5,771人/km ² (2007年4月1日現在)

*世帯数・人口・人口密度には外国人を含みません

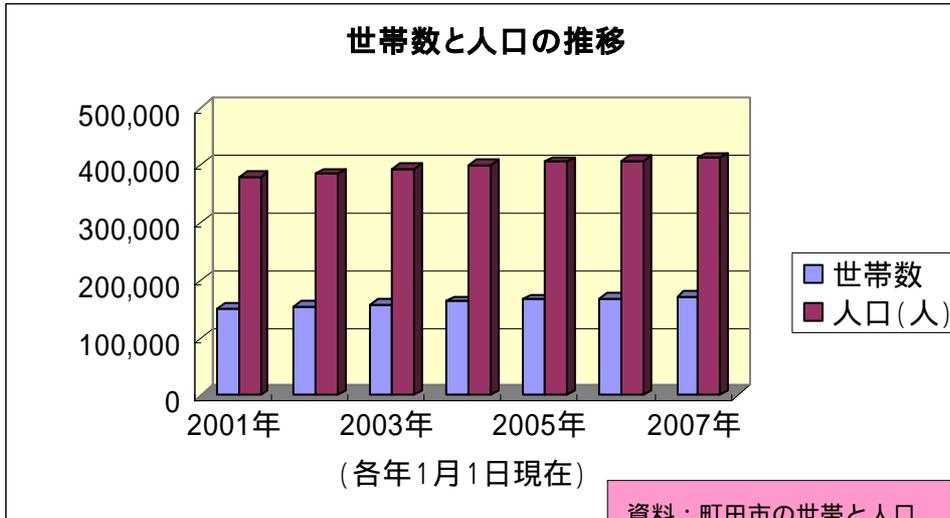
町田市の位置



資料：町田市統計書 2006 年度版

人口

人口と世帯数の推移(単位:人 各年1月1日現在 外国人を含む)

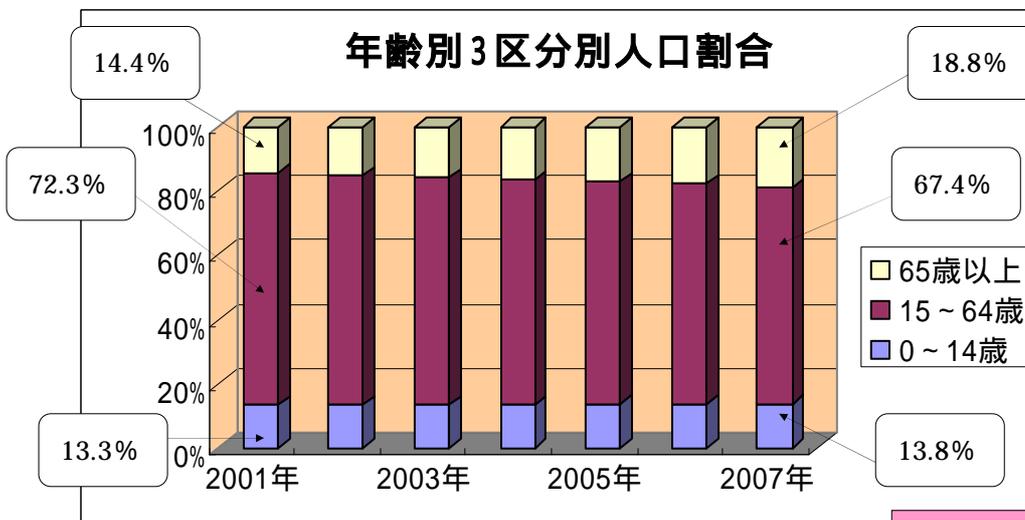


資料: 町田市の世帯と人口

町田市の人口は、市制施行以来増加しています。1958(昭和33)年の市制施行時の人口は、約6万1千人でしたが、2007年には約41万3千人となり、市制施行時の6.8倍になっています。

区分 年	世帯数	人 口		
		総数	男	女
2002	153,755	385,689	191,731	193,958
2003	158,536	393,666	195,489	198,177
2004	163,325	401,672	199,154	202,518
2005	166,583	406,281	201,065	205,216
2006	169,364	409,017	202,328	206,689
2007	173,085	413,176	204,379	208,797

資料: 町田市の世帯と人口



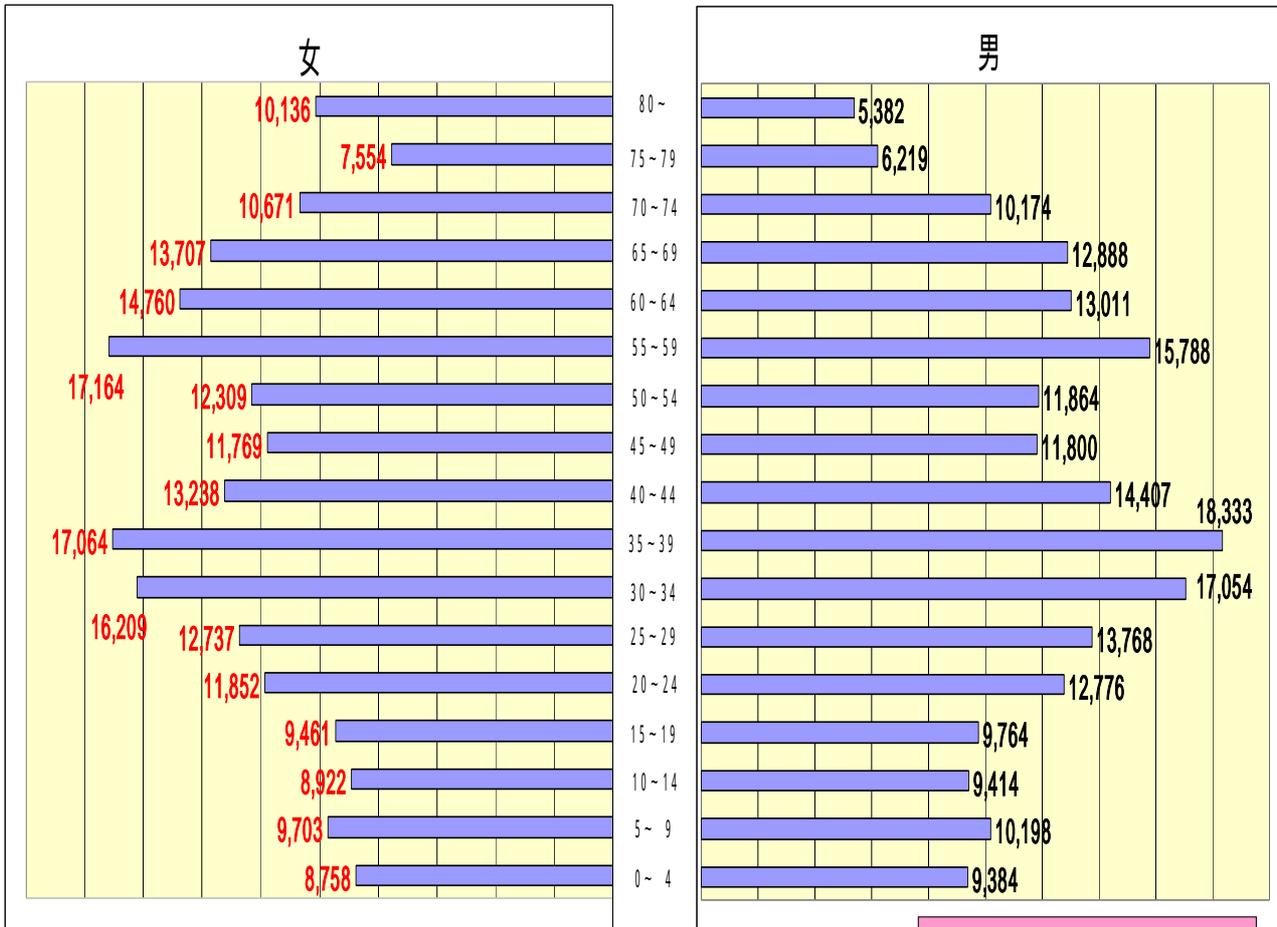
資料: 町田市の世帯と人口

町田市の年齢3区分別人口割合では、65歳以上の高齢者の占める割合が年々増加し、15~64歳の生産年齢人口が減少しています。

年齢階級別人口（単位：人 2007年1月1日現在 外国人を含まず）

年齢区分	総数	男	女	年齢区分	総数	男	女
0～4	18,142	9,384	8,758	45～49	23,569	11,800	11,769
5～9	19,901	10,198	9,703	50～54	24,173	11,864	12,309
10～14	18,336	9,414	8,922	55～59	32,952	15,788	17,164
15～19	19,225	9,764	9,461	60～64	27,771	13,011	14,760
20～24	24,628	12,776	11,852	65～69	26,595	12,888	13,707
25～29	26,505	13,768	12,737	70～74	20,845	10,174	10,671
30～34	33,263	17,054	16,209	75～79	13,773	6,219	7,554
35～39	35,397	18,333	17,064	80歳以上	15,518	5,382	10,136
40～44	27,645	14,407	13,238	総計	408,238	202,224	206,014

資料：町田市の世帯と人口

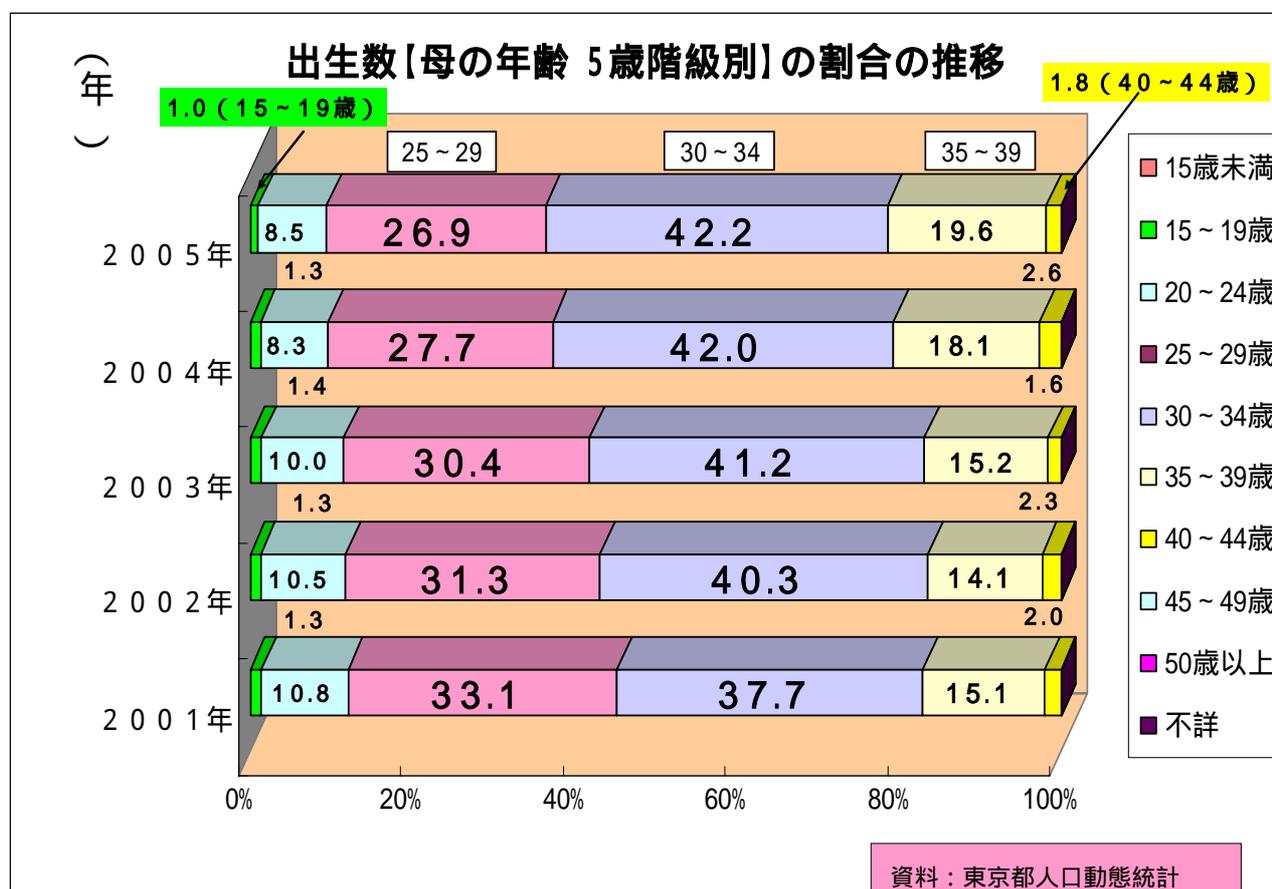


資料：町田市の世帯と人口

男女ともに「団塊の世代」と呼ばれる 55～59 歳と「団塊の世代」のその子ども世代の二つの人口のピークがあります。

出生数【母の年齢 5歳階級別】

年	計	15歳未満	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50歳以上	不詳
2001年	3,176	1	42	342	1,051	1,197	478	64	1	0	0
2002年	3,242	0	43	341	1,016	1,308	458	75	1	0	0
2003年	3,285	1	47	330	998	1,355	499	54	1	0	0
2004年	3,315	0	44	276	917	1,391	600	87	0	0	0
2005年	3,214	1	32	273	865	1,355	629	59	0	0	0



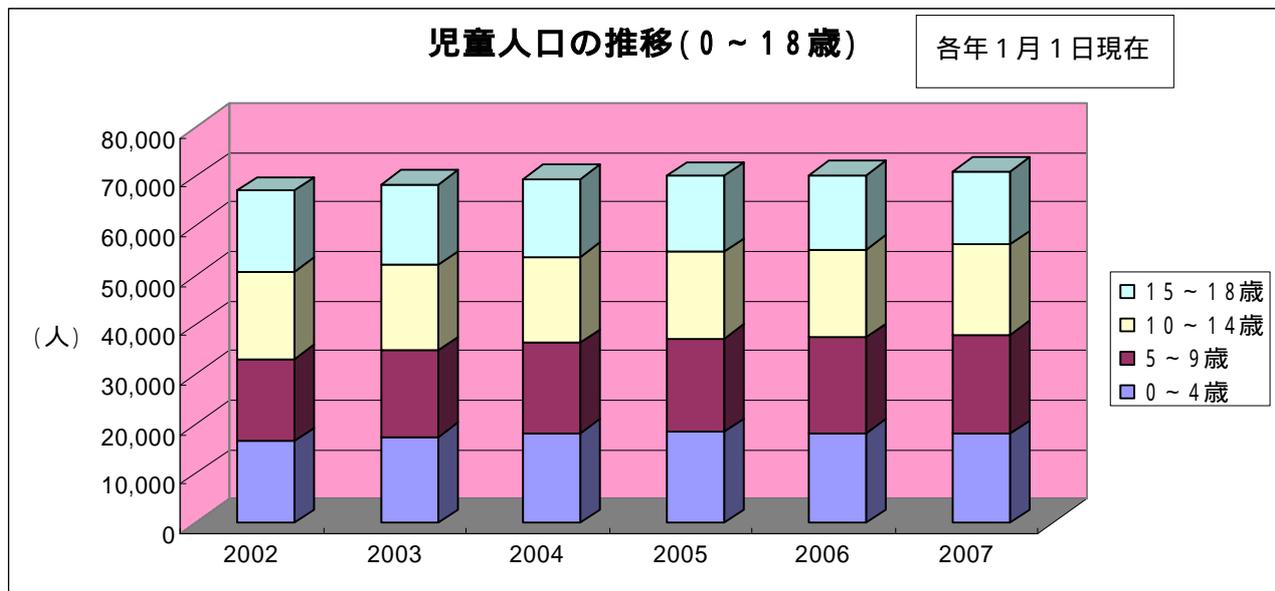
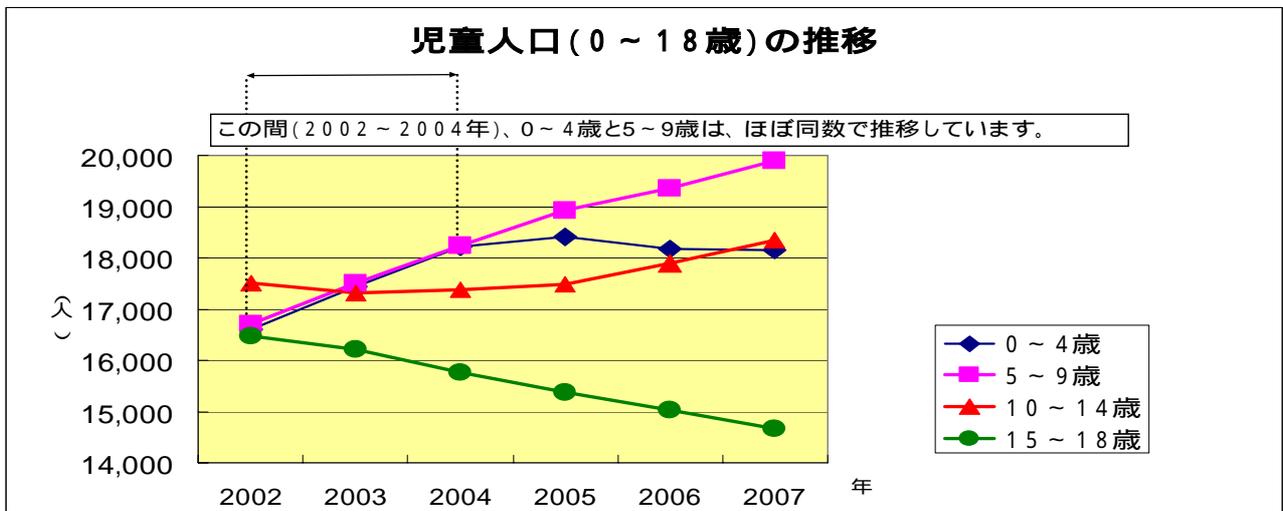
20歳代までの出産の割合は減少しています。しかし、30歳以上の出産の割合は年々増加しており、2005年では約64%が30歳以上での出産となっています。

児童人口(0~18歳)の推移

各年1月1日現在 (人)

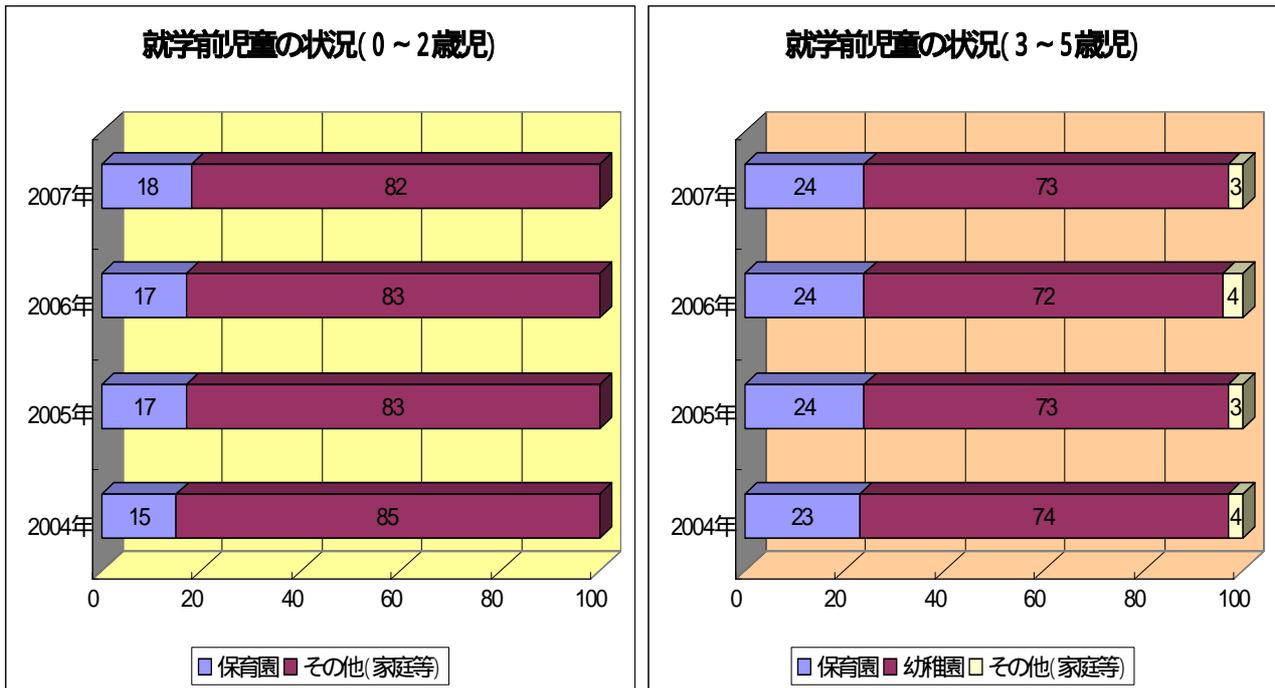
児童人口(0~18歳)の推移

	0~4歳	5~9歳	10~14歳	15~18歳	合計
2002	16,595	16,713	17,514	16,466	67,288
2003	17,442	17,507	17,305	16,210	68,464
2004	18,223	18,226	17,386	15,757	69,592
2005	18,412	18,924	17,481	15,366	70,183
2006	18,164	19,353	17,896	15,027	70,440
2007	18,142	19,901	18,336	14,667	71,046



児童人口(0~18歳)は、全体的には微増が続いていますが、15~18歳は減少しています。一方、5~14歳の小・中学生の人口は、増加を続けています。しかし、0~4歳の人口は、2005年をピークに減少に転じており、数年後には児童人口全体が減少に転じるものと予測されます。

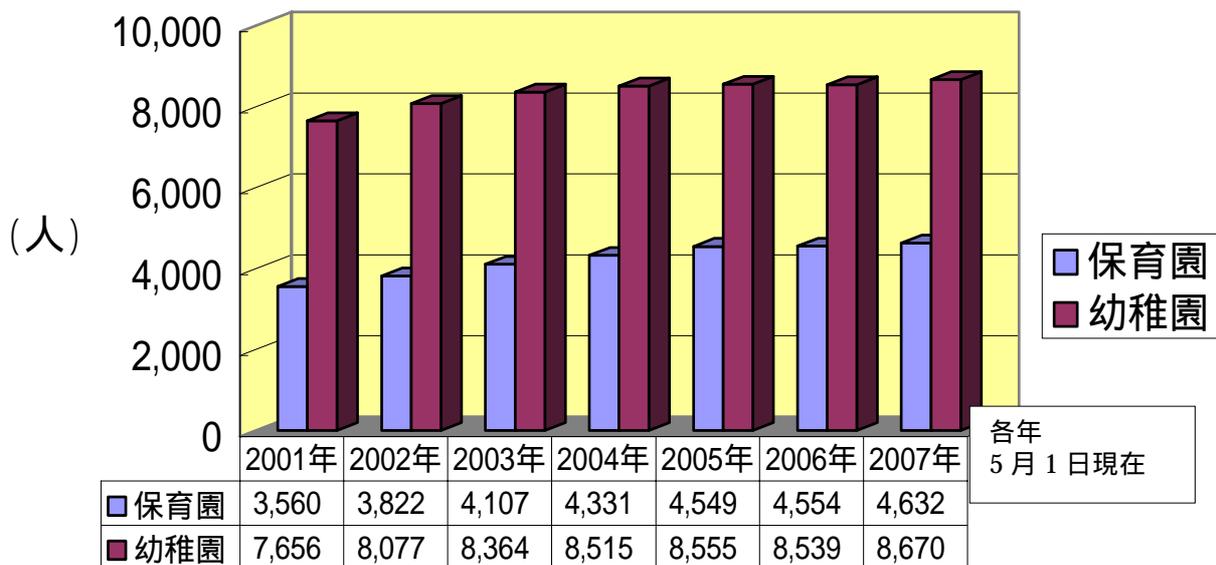
就学前児童の状況（基準日：2007年5月1日 単位：％）



資料：子ども生活部子育て支援課・子ども総務課

0～2歳では、80%以上の子どもが、家庭で保護者と過ごしています。3～5歳児になると全体の約3/4の72%の子どもが幼稚園に通園し、約1/4の24%の子どもが保育園に通園しています。

保育園・幼稚園在籍園児数の推移



3. 町田市の子ども施策の体系

(1) 町田市基本構想・基本計画(抜粋)

基本目標 活躍する人が育つまちをつくる

重点目標1 誰もが地域や社会で輝ける環境をつくる

個別目標(1) 充実した時間をすごせる機会を増やす

- ・ 様々な活動をする機会が得られている
- ・ 様々な文化や芸術に触れることができている
- ・ 多くの人々が、好きなことや生きがいをもっている

個別目標(2) 地域や社会で活動できる機会を増やす

- ・ 地域活動、社会活動により地域が活性化している

重点目標2 知識や能力を生かし、社会で活躍できる人を育てる

個別目標(1) 意欲や能力のある人の起業を促進する

- ・ 市内の企業活動が活発になっている
- ・ 市内で働く市民が増えている

個別目標(2) 知識社会に対応した生涯学習を活発にする

- ・ 市民が、仕事や職業に求められる知識や技術を身につけることができている
- ・ IT(情報技術)を使える人が増えている

重点目標3 次世代の社会を担う人を育てる

個別目標(1) 子どもが健やかに育つ環境をつくる

- ・ 子育てしやすい環境が整っている
- ・ 地域が子育てを見守っている
- ・ 子どもどうしが触れあっている
- ・ 子どもへの虐待がない
- ・ 子どもが増えている

個別目標(2) 子どもが様々な体験ができる機会をふやす

- ・ 子どもが自らの目標を見つけている
- ・ 子どもが自ら進んでいろいろなことに挑戦している
- ・ 子どもが地域社会との関わりを持っている

(2) 町田市子どもマスタープラン

策定の経過

子どもを取り巻く社会状況の変化に伴い、子どもと子育て家庭への支援に対する市民のニーズが変化しており、従来の「福祉」や「教育」といった枠を超えた体制での施策推進が必要となっています。こうした状況を受け、子ども行政一元化を実施するとともに、町田市としての子ども施策の基本的な方向性を示すために「子どもマスタープラン」を策定しました。

- ・2003年11月 学識経験者、関連機関代表、公募市民等で構成される町田市子どもマスタープラン審議会に「マスタープランのあり方」を諮問。
- ・2004年8月 「子どもマスタープラン公聴会」を開催。45名の市民が参加。
- ・2004年10月 審議会が「子どもマスタープラン(案)」を市長に答申。
- ・2004年12月 子どもマスタープランを策定・公表。

審議会の開催状況

- ・審議会(5回)
 - ・専門部会(第1、第2、第3) 延べ24回(各8回)
 - ・プランの当事者である子どもの意見を反映させるために設けられた「子ども委員会(公募の中高生で構成)」(10回)
 - プラン作成の基礎資料とするための調査
 - ・子どもマスタープラン基礎調査
 - ・次世代育成支援計画調査
 - ・ひとり親家庭の子育てアンケート
 - ・国際結婚家庭の子育てアンケート
- 2003年7月に施行された次世代育成支援対策推進法(平成15年法律第120号)第8条第1項の規定に基づき、市町村行動計画策定が義務づけられたことを受け、「町田市次世代育成対策推進行動計画」を子どもマスタープランに含め策定しました。

子どもマスタープランの推進

子どもマスタープランは、次のように推進します。

- ・計画期間は、2005年度から10年間です。5年毎に必要な見直しを行います。
- ・子ども生活部が中心となり、関連する各課がプランに基づき推進します。
- ・子どもマスタープランに基づく推進計画の策定、推進状況の検証、総合調整は、副市長を長とする庁内組織「子どもマスタープラン推進委員会(庁内の関連する部長・課長で構成)」が担います。
- ・特に検討が必要な事項については、関連する課の職員で構成する作業部会を設置し、検討します。
- ・進捗状況について、本書「まちだの子ども施策」で毎年公表します。

(3) 子どもマスタープランの基本理念・基本的視点・基本目標

(「町田市子どもマスタープラン」より抜粋)

基本理念

子どもが自分らしく安心して
暮らせるまちをみんなで創り出す

すべての子どもの心身ともに安全で健やかな成長を実現することは、現代社会の重要な課題です。人間としての基礎的な資質が作られるこの時期、大人と子どもの関わりのあり方は、子どもの生涯の充実した人生に大きく影響します。

また、子どもは現在の市民であるとともに、将来の市民社会の中核となる存在です。子どもを健やかに育み、豊かな市民性を培うことは、子どもの生涯を充実させるとともに、将来の市民社会の安定と発展のためにも必要なことです。

大人中心の暮らしや社会の価値を子どもの視点からも問い直し、子どもを支えていく社会をみんなで創り出します。

基本的な視点

(1) 一人ひとりの子どもの権利実現の視点

子どもは一人の市民です。子どもも大人の市民と同様に、自分の意見を表明することができ、決定に参画する権利があります。子ども自らが考え行動し、他者と関わりながら成長できる環境を整えていくことが求められています。

また、子どもへの権利侵害がおきた場合の救済や、やり直しの機会が保障されるように、大人や社会が受け止めていくことも大切です。

大人も子どもも相互理解を深めながら、市民として現在と未来を一緒に創っていくという視点が必要です。

(2) 子どもと親がともに成長する視点

子どもとの関わりを自らの子育てで初めて体験する親が多くなっています。

これまで、親としての自覚や知識・技術を持っていることを前提に支援が組み立ててきましたが、現代の子育てには子どもが成長する時、親も新たな体験を積み重ね、ともに成長していく視点が必要です。

子育てスタート期を大切にし、その場のみの助け合いや連携に止まらず、地域での子

育て仲間の形成や地域で支え合える土壌づくりをし、子どもも親も地域の人々もともに、成長し合うことが必要です。

(3) 地域の中で家族を孤立させない視点

子育ての主体は家族にあります。けれども、家族の中で解決できない時や行き詰まった時に、さりげなく相談に乗ってもらったりすることがとても大きな力になるものです。一方では、子育て観・生活観などの多様化により、子育て家族と地域との結びつきに難しさを感じる市民も多くなっています。

多様な地域社会と家族との関わり方に視点を当てた地域活動が柔軟に展開されて、子育ての支え合いのできる地域社会を創ることが必要です。

(4) 市民（子どもと大人）と行政の協働を進める視点

子どもに関わることは、子どもと大人が協働して取り組んでいくことが必要です。また、市民と行政は、行政がやるべきことと市民ができることの分担と協働を協議し、お互いに責任をもって事業を創り出していくことが大切です。

子どもと大人が協働することによって、当事者の視点が明確になりそれぞれの地域の実情にあった施策や活動の方向性が明らかになります。

基本目標 基本理念を実現するために、3つの基本目標を掲げました。

基本目標 : 子どもが健やかに育ち、
一人ひとり自分の中に光るものを持っている

基本目標 : 子どもが安らいでいる家族があり、
家族が地域とつながっている

基本目標 : 子どもが地域の中で大切にされている

(4) 町田市子どもマスタープランの施策体系

基本目標 : 子どもが健やかに育ち一人ひとり自分の中に光るものを持っている

重点目標 1 : 子どもの遊びや体験が大切にされ、主体的に参加し意見表明できる

個別目標 (1) : コミュニケーション能力を育てる

個別目標 (2) : 参加と意見表明の場や機会をつくる

個別目標 (3) : 救済とやり直しの場や機会を保障する

重点目標 2 : 大人になっていく力をつける (市民性の形成を育む)

個別目標 (1) : 乳幼児期の養護の充実

個別目標 (2) : 幼児教育の充実

個別目標 (3) : 学校教育の充実

個別目標 (4) : 思春期の子どもの心と身体健康教育

個別目標 (5) : 体験活動から学ぶこと (文化・スポーツ活動等)

基本目標 : 子どもが安らいでいる家族があり、家族が地域とつながっている

重点目標 1 : 親になる力を身につける

個別目標 (1) : 親スタート期を支える

個別目標 (2) : 子育て期を支える

個別目標 (3) : 男女共同の子育てを進める

個別目標 (4) : 親の悩みを支える

重点目標 2 : 親が働くことを支える

個別目標 (1) : 保育支援

個別目標 (2) : サービスの質の向上と効果的・効率的な提供の充実

重点目標 3 : きめ細やかな支援が必要な家族を支える

個別目標 (1) : 障がいのある子どもと家族への支援

個別目標 (2) : ひとり親家族への支援

個別目標 (3) : 外国籍家族への支援

個別目標 (4) : 被虐待児 (DV 家族児童を含む) と家族への支援

基本目標 : 子どもが地域の中で大切にされている

重点目標 1 : 人と人が関わりつなげる場をつくる (家庭・施設・学校・地域・行政の協働)

個別目標 (1) : 地域の人材育成と人材活用

個別目標 (2) : 地元事業所・商店の関わり

個別目標 (3) : 体験できる場 (多様な体験ができる機会を増やす)

個別目標 (4) : 交流できる場 (子どもや子育てしている人がふれあい情報交換できる場を増やす)

個別目標 (5) : 子どもセンター・地域子育てセンターを中心とした地域づくり

重点目標 2 : 一人ひとりに情報が確実に届く

個別目標 (1) : 子どもと親への情報の確保

重点目標 3 : みんなで安全・安心のまちをつくる

個別目標 (1) : 子どもの安全・安心の確保

個別目標 (2) : 子育てしやすいまちづくり

4 子どもマスタープランに基づく2006年度の取り組み

この章は、3つの基本目標ごとに次のように構成されています。

重点目標

【重点目標の解説】

個別目標

【個別目標の解説】

個別目標を達成するための事業の具体的紹介

【解説】この個別目標を達成するために行われた2006年度事業のうち、特長的な事業とその内容を紹介しています。

♪この個別目標を実現するために実施している他の主な事業♪（例）

⇒巡回相談（子ども生活部児童青少年課）

【解説】この個別目標を達成するために行われている事業のうち、紙面の都合で詳しい説明をすることのできなかった事業を名称と担当課のみ掲載しています。

*なお、事業の詳細（事業費や事業量）については、企画部で発行している「事務事業カルテ」で詳しくご覧になれます。事務事業カルテは、「市政情報やまびこ」、各図書館でご覧いただけるほか、町田市公式ホームページでもご覧いただけます。

町田市公式ホームページ（<http://www.city.machida.tokyo.jp/>）

市の取り組み 事務事業カルテ

また、子ども生活部の2007年度の主な取り組みと当初予算額を次のように紹介しています（子ども生活部以外の部については紹介していませんので、ご了承ください）

子ども生活部 2007年度の取り組みと予算 <例>

*子どもセンター、子どもクラブの運営・事業・・・8,681万円

*（仮称）相原子どもセンターの建設・・・・・・・・1億6,440万円

【2008年度オープン予定】

基本目標 子どもが健やかに育ち、一人ひとり自分の中に光るものを持っている

重点目標1 子どもの遊びや体験が大切にされ、主体的に参加し意見表明できる

【重点目標の解説】

子どもが様々な遊びや体験の中で人間関係について学ぶことができ、大人も子どもの遊びや体験が大切なことを理解できるようにします。

子どもが社会の様々なことに主体的に参加し、意見表明ができることを理解し、実践できるようにします。

大人が子どもの参加や意見表明について理解し、受け入れることができるようにします。

- 1 - 個別目標1 コミュニケーション能力を育てる

【個別目標の解説】

子どもが幅広い人間関係をつくり、意思疎通を図ることができるようにします。

中学2年生の職場体験

市内の公立中学校（全20校）の2年生約2,700人が、学校ごとに9月、11月、2月に市内外の事業所（農業、製造業、小売業、飲食店、小学校、保育園、幼稚園、行政機関など）にご協力をいただき連続した5日間の職場体験を行いました。

この5日間は、様々な職業を体験する中で、働くことの意味や人と協力することだけでなく、仕事を通して親や学校の先生とは異なる大人とのコミュニケーションを図る力を培う場ともなりました。

担当：学校教育部指導課

- 1 - 個別目標2 参加と意見表明の場や機会をつくる

【個別目標の解説】

子どもが家庭・学校・地域で大人を信頼し自由に意見を言うことができるようにします。

子どもセンター、子どもクラブの子ども委員会

子どもセンターばあん、子どもセンターつるっこ、南大谷子どもクラブでは、子ども委員会が設置されています。子ども委員会には、小学生～高校生までが参加し、イベントの計画、当日の運営や施設利用のルールづくりなどについての活動を行っています。

また、2008年度に開設予定の（仮称）相原地区子どもセンターでは、準備段階から子ども委員会を設置し、子どもの意見を取り入れた施設づくりが進められています。

担当：子ども生活部児童青少年課

- 1 - 個別目標3 救済とやり直しの場や機会を保障する

【個別目標の解説】

子どもが悩んだときに気軽に相談するところがあり、立ち直りを支えることができるようにします。

小学校適応指導教室「けやき教室」

心理的な要因により学校へ行きにくい、または実際に登校できない状態にある児童の学校復帰に向けた支援を目的として、開設された教室です。保護者と相談のうえ、社会性、協調性を育てるための体験的活動や学習内容の補充、生活リズムの調整、自信を取り戻すための励まし等、一人ひとりの児童の実態に合わせて指導を進め、学校への復帰のための援助を行っています。

担当：学校教育部指導課

【資料：町田の教育 2006】

♪この個別目標を実現するために実施している他の主な事業♪

- ☞教育相談（学校教育部指導課）
- ☞巡回相談（子ども生活部児童青少年課）
- ☞子ども家庭支援センターでの相談（子ども生活部子育て支援課）

重点目標2 大人になっていく力がつくようにする(市民性の形成を育む)

【重点目標の解説】

子どもが成長段階に応じた様々な体験の中で社会について学び、社会の一員としての自覚を持つことができるようにします。

- 2 - 個別目標1 乳幼児期の養護を充実させる

【個別目標の解説】

乳幼児とその親が精神的に安定した状態で生活を送ることができるようにします。

- 2 - 個別目標2 幼児教育を充実させる

幼・保・小子ども連絡協議会

就学前の教育・保育と小学校との連携を進めることを目的に、定期的に意見交換を行っています。メンバーは、法人立保育園園長、私立幼稚園園長、公立小学校校長、教育委員会、子ども生活部です。2006年度は、特別支援教育(注：29ページ参照)における幼稚園・保育園・小学校の連携等をテーマに2回の協議会を開催し、意見交換を行いました。

担当：子ども生活部子ども総務課

- 2 - 個別目標3 学校教育を充実させる

【個別目標の解説】

義務教育の対象となるすべての子どもが小学校・中学校に楽しく通えるようにします。

小学校1年生学級への生活指導補助者派遣

小学校に入学したばかりの新1年生がスムーズに学校生活に慣れるように、約2ヶ月間学級担任の補助者として生活指導補助者を派遣しています。登下校の指導、学校での約束事や学習規律の徹底、清掃・給食・安全指導補助など、学級担任と打ち合わせながら必要な指導の補助を行います。

担当: 学校教育部指導課

学校ネットワークの整備

全ての小中学校に光ファイバ-を敷設し、各教室からインターネットに接続できる環境を整備しています。また、全ての小中学校にパソコン教室用(41台)や特別支援学級用(2~3台)等のパソコンを整備するとともに、デジタルコンテンツ(パソコンを利用した教材)を作成し、情報教育環境の充実を進めました。

担当: 学校教育部指導課

国際理解教育の推進

〔国際交流事業〕2006年度から国際理解教育の一環として学校ネットワークを活用し、児童・生徒が電子メール、インターネットを利用したテレビ会議を通して外国人と直接会話をし、文化や風土、教育環境の相違などを経験する活動を進めています

担当: 学校教育部指導課

♪この個別目標を実現するために実施している他の主な事業♪

☞特色ある学校づくり推進事業(学校教育部指導課)

- 2 - 個別目標4 思春期の子どもたちの心と身体健康教育を充実する

【個別目標の解説】

思春期の子どもたちが自分の世代の心や身体について学ぶことができるようにします。

中学校給食

栄養バランスのとれた食事を提供し、正しい食習慣を身につけることにより、好ましい人間関係の育成や健康増進を目的に、2005年度から5年計画で年間4校ずつ中学校給食を提供しています。この給食は希望制で、弁当併用外注方式を採用しています。2006度は、約47%の利用がありました。

担当: 学校教育部学務課

【用語解説: 弁当併用外注方式】

給食を希望する生徒に対し、調理業者が調理した弁当を学校に配達する給食の提供形態。家庭からの弁当を持参することも可能。

- 2 - 個別目標5 体験活動から学ぶようにする(文化・スポーツ活動等)

【個別目標の解説】

子どもが様々な活動に参加し、多くの体験を得ることができるようにします。

資料：町田市子育て情報誌のびっこ

青少年施設ひなた村

青少年の文化活動や創作活動、あそびと創造の場と機会を提供する施設です。市内で活動しているサークルやグループ等にひなた村屋内外を開放しています。カリヨンホール、レクリエーションルーム、和室、屋外炊事場があります。子どもグループの育成事業として人形劇・電気工作、遊びの各グループが、毎週ひなた村に集まり活動しています(毎年5月に募集)。また、主催事業として、縄文体験学習や、チャレンジ教室、創作童話募集など、青少年を対象とした事業を行っています。

所在地 町田市本町田2863

担当：生涯学習部ひなた村

大地沢青少年センター

大地沢青少年センターは町田市の西端にあり、町田市最高峰の草戸山(364m)をはじめとする山々に囲まれています。また、「境川」の源流域でもあります。

施設周辺では、ムササビやリス、イノシシなどのほ乳類をはじめ、ホタルや沢ガニ、野鳥など様々な野生動物が生息しています。

約22万平方メートル(東京ドーム4.7個分)の敷地内には、野外炊事場やキャビン、テントサイトなどのキャンプ施設の他、本館内には宿泊室や音楽演奏ができるホールもあります。

所在地 町田市相原町5307-2

子どもキャンプ等自然体験型主催事業の他、プログラムサービス等の事業を行っています。担当：生涯学習部大地沢青少年セン

保育室 文学サロントーク ちちんぷいぷい

「小さくたって文学(ことば)だいすき!」をキャッチフレーズに、文学のはじめの一歩となる絵本やわらべ歌、スキンシップ遊びなどをとおして、ことばを楽しむ活動を行いました。絵本の読み聞かせやスキンシップあそびなど全体活動の他、親子で絵本を楽しむ時間やスタッフや参加者同士の交流(おしゃべりタイム)なども行い、親にとって安心できる場であるとともに、家庭でも読み聞かせが繋がることが目標に実施しています。

担当：生涯学習部図書館 文学館

夏休み酪農ふれあい体験

町田市乳用牛改良事業協議会が中心となって行う酪農ふれあい体験を側面からサポートしています。この酪農体験では、子どもたちが市内酪農家で、牛に餌を与えたり、搾乳をする等、酪農作業を一泊二日で体験しました。担当：環境・産業部農業振興課

天体望遠鏡をつくろう

夏休み特別展「星空にあこがれて - プラネタリウムと天体望遠鏡」における参加型イベントとして実施し、天体望遠鏡を作成しそのしくみと使い方を学びました。

星座早見盤をつくろう・my 星座をつくろう

夏休み特別展「星空にあこがれて - プラネタリウムと天体望遠鏡」展覧会会場に星座早見盤や自分オリジナルの星座(my 星座)を作成する体験コーナーを設けました。

担当:生涯学習部博物館

楽器講座 (超)初級ミュージシャン講座

中高生対象の事業として、エレキギター エレキベース アコースティックギター ドラムの4講座を各13回実施しました。

担当:子ども生活部児童青少年課 子どもセンターばあん

中高生バンドクラブ「BDG」

「楽器が上手になりたい。」、「仲間を増やしたい。」。そんな中高生が集まってできたクラブ活動です。定期的につるっこスーパーライブを実施しています。

担当:子ども生活部児童青少年課 子どもセンターつるっこ

あそぼお～や

子ども委員会の子どもたちが中心になり、地域の子どもたちと遊ぶ会として、今年度からリニューアルスタートしました。<全17回>

担当:子ども生活部児童青少年課 南大谷子どもクラブ

♪この個別目標を実現するために実施している他の主な事業♪

- 《生涯学習部》☞スポーツ指導と大会(スポーツ課) ☞図書等貸出、援助等(図書館)
- ☞資料・作品の展示、普及等(博物館・社会教育課自由民権資料館・国際版画美術館)
- ☞講座・講演会(公民館) ☞イベント、創作教室等(ひなた村・大地沢青少年センター)
- 《その他の部》☞自然観察(環境・産業部公園緑地課) ☞農業体験(農業委員会事務局)
- ☞図書の貸出(市民部忠生市民センター・玉川学園文化センター)

子ども生活部 2007年度の取り組みと予算

- * 子どもセンター、子どもクラブの運営・事業 8,681万円
- * (仮称)相原子どもセンターの建設 1億6,440万円
- 【2008年度オープン予定】
- * 青少年教育と指導者育成のための事業 360万円
- 【デゴイチまつり、鼓笛まつり、おやこで あ・そ・ぼっ など】

基本目標 子どもが安らいでいる家族があり、家族が地域とつながっている

重点目標1 親になる力を身につける

【重点目標の解説】

妊娠期から子育て期の親が、安心して出産や子育てをするためのサービスをうけることができるようにします。

- 1 - 個別目標1 親スタート期を支える

【個別目標の解説】

妊娠期の親が精神的に安定して妊娠期を過ごし、出産を迎えることができるようにします。

妊産婦・乳幼児の健康のための支援

妊婦健康診査、乳幼児健康診査

ぷれびよクラス（母親学級）等（申込みが必要です）

新生児訪問、離乳食講習会、幼児食講習会、虫歯予防教室、歯科健康診査（申込みが必要です）

母性保健相談、母乳育児相談、乳幼児・母性相談、育児学級等

電話による相談、保健師の訪問も行っています。

* 講習会、相談の日程については「広報まちだ」等でお知らせしています。

担当：健康福祉部健康課

若年出産家族支援プログラムの検討

2005年に「若年出産家族支援作業部会」を立ち上げ、10代の出産という切り口から、子育て家族の現状と課題を検討してきました。（メンバー：町田市民病院・健康課・生活支援課・子育て支援課・子ども総務課の職員）

2006年度の作業部会の中では、家族形態や経済的基盤が不安定なまま出産を迎えるところに様々な問題が生じていること、またその状況は若年(10代)に限らず他の年代にも起きているということが浮かび上がってきました。また各課の相談内容等の業務を数値化して集計し、現状を探ってみました。この結果は報告書としてまとめてあります。

今後は、出産から子育てに関わる関係機関がより一層の連携を強め支援していくこと、子育て家族の社会や地域からの孤立を防ぐよう身近な相談場所を増やしていくこと、親になる前に乳幼児と関わり子育てのイメージが持てるような体験の場を提供していくこと、などを提言とします。今後具体的な取り組みを行うときには、子ども総務課がその調整等を行なっていきたいと考えています。

担当：子ども生活部子ども総務課

♪この個別目標を実現するために実施している他の主な事業♪

《子ども生活部》

☞育児支援ヘルパーの派遣（子育て支援課）

《健康福祉部》

☞母子健康相談、妊産婦健康診査、乳幼児健康診査、母親学級、出産前小児保健指導、母子保健訪問指導等（健康課）

- 1 - 個別目標2 子育て期を支える

【個別目標の解説】

子育て中の親が孤立感を持たずに子育てをすることができるようにします。

子育てひろば

在宅で子育てをされている家庭を対象に「子育てひろば」事業を行っています。市内の保育園を会場に、親子で遊びながら子育ての楽しさを感じたり、親同士・子ども同士の交流を深め、さまざまな情報交換ができる機会を提供しています。

親子で同年齢のクラスに入り、保育園の生活を体験したり(要予約・食事代が必要です)、食事・排泄・睡眠・言葉・遊び・友だち・・・子育てのことなら何でもご相談ください。保育園の園庭の開放もしています。詳しくは「子育てひろばカレンダー」(P.35)をご覧ください。
担当:子ども生活部子育て支援課

子育てひろば情報は、町田市公式ホームページ内 子育てひろばカレンダー・キッズページ(「イベント情報」「保育園」)でご覧いただけます。

*キッズページURL <http://www.city.machida.tokyo.jp/kids/>

ブックスタート・パンフレット

ブックスタートの応援

乳幼児におすすめの本をピックアップしたパンフレットを作成し、各図書館や保育園などで配布しました。

担当:生涯学習部図書館

おはなし会「おはなしぼっけ」

0歳～2歳児とその保護者を対象にボランティアによるおはなし会を実施しました。行政が場所を提供し、地域のボランティアが「読み聞かせ」、「わらべうた」、「てあそび」などを行った後、参加者同士の交流の時間をもちました。

担当:市民部市民課玉川学園文化センター



子どもセンター・子どもクラブの子育て支援事業

各子どもセンター・子どもクラブも乳幼児とその保護者を対象にしたキッズアタック（ばあん）、ぽっぷんたいむ（つるっこ）、ぴっころタイム（南大谷子どもクラブ）などの子育て支援の事業を実施しました。 担当：子ども生活部児童青少年課

さるびあフェスタ2006

2006年9月17日に町田市民ホールを会場に、「わくわく・どきどき・あそびいっぱい」をテーマに工作、劇あそび、パン作り、バナナケーキづくり、本の読み聞かせ、絵手紙、木登り体験、ミニSL乗車など親と子どもと一緒に遊べるプログラムを中心にしたイベントを行いました。市、財団法人町田市文化・国際交流財団等の共催ですが、町田市法人立保育園協会、町田市私立幼稚園協会、NPO法人町田語り手の会等多くの関係団体にもご協力をいただき、約5,000人の参加がありました。

担当：子ども生活部子ども総務課



さるびあフェスタ2006

- 1 - 個別目標3 男女共同の子育てを進める

【個別目標の解説】

夫婦が協力して子育てをすることができるようにします。

両親学級

妊婦とその家族を対象に妊娠中の健康管理・栄養・お産の正しい知識・産後の注意・新生児の保育指導を行いました。<4回実施> 担当：健康福祉部健康課

男性のための料理教室

子育て世代を中心とする男性を対象に料理づくりを通して、男性の家事・育児参加への意識の促進と生活の自立支援を目的とした事業を行いました。2006年度は、「簡単おいしい中華丼」、「秋の簡単和食」をテーマに2回実施しました。

担当：市民部男女平等推進センター

パパといっしょ

親子で遊びながら、お父さんと一緒に簡単に遊べる遊びを紹介しました。<毎月第1日曜に実施> 担当：子ども生活部児童青少年課子どもセンターつるっこ

- 1 - 個別目標4 親の悩みを支える

【個別目標の解説】

子育て中の親が悩みや不安について身近な場所で気軽に相談できるようにします。

地域子育てセンター

子ども家庭支援センターのブランチ（枝）として市立の7保育園が、地域での育児相談や様々な子育ての悩み事の相談に応じています。また、子育てサークルの場を提供したり、サークル活動に保育士を派遣する等の専門知識を活かした事業を行っています。

- ・原町田地域：市立町田保育園
 - ・南 地域：市立金森保育園
 - ・本町田地域：市立本町田保育園
 - ・鶴川地域：市立大蔵保育園
 - ・森野地域：市立森野保育園
 - ・忠生地域：市立山崎保育園
 - ・堺 地域：市立こうさぎ保育園
- 担当：子ども生活部子育て支援課

子育てママのしゃべり場

地域の中で関わる場をもてず育児不安やストレスを抱えて悩んでいる子育て中の母親を対象に、虐待予防及び育児不安の解消につなげる共感・共有の場として実施しました。

<11回実施> 担当：子ども生活部子育て支援課 子ども家庭支援センター

健康課の相談（乳幼児・母性相談、来所相談、電話相談）

乳幼児とその保護者を対象に、発育・発達、育児方法や食事、虫歯予防、家族の健康について、関係する専門の職員による相談を行いました

担当：健康福祉部健康課

重点目標2 親が働くことを支える

【重点目標の解説】

子育て中の親が就労と子育てを両立することができるようにします。

保育所待機児童数の推移

各年度4月現在



保育所入所待機児の解消

町田市では、保育所待機児の解消が大きな課題となっています。前ページの表のように2004年度をピークに待機児童数は減少しています。これは保育所の新規開設、定員増などの施策を進めてきた成果ではありますが、なお、待機児童の解消には至っていません。

今後とも早期の待機児ゼロを目標に、施設・制度等の支援策を積極的に進めていきます。

担当：子ども生活部子育て支援課

♪この個別目標を実現するために実施している他の主な事業♪

《子ども生活部》

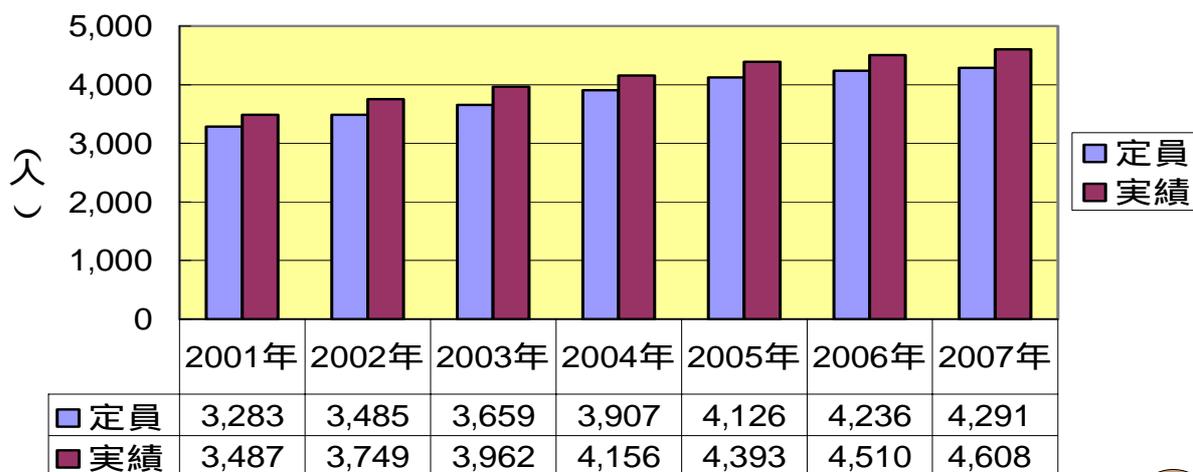
☞認証保育所・家庭福祉員・契約保育室運営支援等

- 2 - 個別目標1 保育支援

【個別目標の解説】

子育て中の親が子どもを預ける様々な保育サービスを選択することができ、安心して働くことができるようにします。

保育所入所児童数の推移



子ども生活部 2007年度の取り組みと予算

- * 保育園分園の設置補助（1園）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8,300万円
- * 保育園改築整備補助（1園）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7,109万円
- * 認証保育所の運営・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2億3,688万円
- * 認可外保育所利用者への補助（新規事業）・・・・・・・・・・ 5,056万円
- * 学童保育クラブの整備・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1億2,967万円
 新規開設2クラブ（鶴川第二：2007年4月、金井：2008年1月）移転1クラブ、
 工事2クラブ、設計2クラブ】
- * 私立幼稚園預かり保育事業への補助（7園）・・・・・・・・・・ 1,200万円
- * ファミリーサポートセンターの運営・・・・・・・・・・・・・・・・ 1,172万円

【保育園在籍児童数の推移】(各年4月1日現在)

区分	年度	定員	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計	入園割合
法人立	2002	2,750	259	407	516	580	611	589	2,962	107.7
	2003	2,894	283	428	532	607	639	650	3,139	108.5
	2004	3,142	294	458	574	636	683	702	3,347	106.5
	2005	3,361	322	515	633	697	723	708	3,598	107.1
	2006	3,471	307	548	658	719	756	739	3,727	107.4
	2007	3,526	331	555	667	734	750	771	3,808	108.0
公立	2002	735	29	81	116	166	194	201	787	107.1
	2003	765	35	90	123	169	199	207	823	107.6
	2004	765	34	89	122	168	191	205	809	105.8
	2005	765	36	88	121	170	185	195	795	103.9
	2006	765	29	87	120	164	186	197	783	102.4
	2007	765	33	91	124	166	192	194	800	104.6
合計	2002	3,485	288	488	632	746	805	790	3,749	107.6
	2003	3,659	318	518	655	776	838	857	3,962	108.3
	2004	3,907	328	547	696	804	874	907	4,156	106.4
	2005	4,126	358	603	754	867	908	903	4,393	106.5
	2006	4,236	336	635	778	883	942	936	4,510	106.5
	2007	4,291	364	646	791	900	942	965	4,608	107.4

一時保育

冠婚葬祭等の急な用事、保護者・家族の入院・通院・介護等で家庭での保育ができない、リフレッシュに時間がほしい等の理由により、一時的に児童を保育園で預かる制度です(事前登録が必要です) 担当:子ども生活部子育て支援課

病児・病後児保育

病児保育 病気にかかっている児童を医師の指示に基づいて医療機関に併設した専用の施設で一時預かり保育をします。

病後児保育 「病気回復期」にあり、医療機関による治療の必要はないが、安静の必要がある児童を保育園に併設した専用施設で一時預かり保育をします。

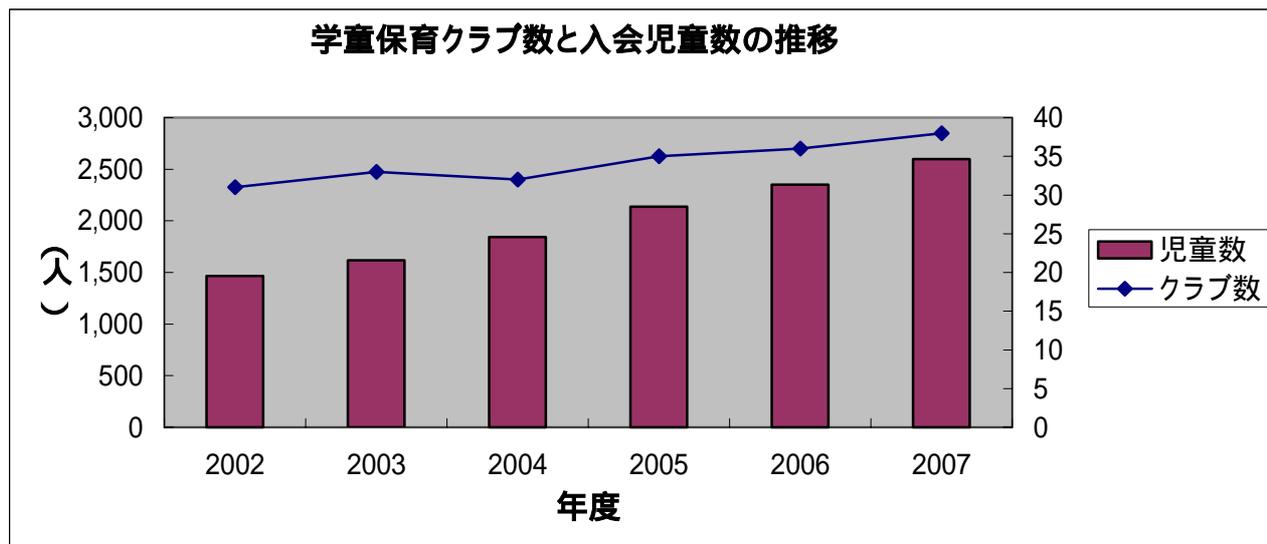
対象 市内在住のおおむね1歳から小学校3年生まで(病児保育は小学校2年生まで)。市外在住でも、市内の認可保育園在園児は利用できます。

事前に利用登録が必要です。 担当:子ども生活部子育て支援課

学童保育クラブ

学童保育クラブでは、放課後帰宅しても保護者が仕事などで子どもの世話をする人がいない家庭の、市内に在住する小学校1年生から3年生(ただし、障がいのある児童については、市長が特に必要と認めるときは6年生)までの児童を預かり、保育しています。現在、1小学校区1学童保育クラブを目標に整備を進めています。

担当:子ども生活部児童青少年課



【学童保育クラブ入会児童数の推移】(各年4月1日現在)

年 度	公立		公社		社会福祉協議会		委託		合計	
	クラブ数	児童数	クラブ数	児童数	クラブ数	児童数	クラブ数	児童数	クラブ数	児童数
2002	8	407	10	399			13	659	31	1,465
2003	9	492	11	436			13	689	33	1,617
2004	8	510	11	541			13	792	32	1,843
2005	7	393			13	729	15	1,016	35	2,138
2006	7	435			13	785	16	1,130	36	2,350
2007	7	478			13	840	18	1,279	38	2,597

* 公社(町田市学童保育公社)所管の学童保育クラブは、2005年4月に(社)町田市社会福祉協議会に移管されました。

幼稚園の預かり保育

「預かり保育」は、通常の教育課程に係る教育時間の前後や長期休業期間(春・夏・冬休み)などに、地域の実態や保護者の要請に応じて、子どもを預かる東京都の補助事業です。女性の社会活動の拡大、少子化や核家族化などに伴う同年代や異年齢の仲間と遊ぶ機会の減少、地域の人々との交流の機会の減少などにより、「預かり保育」へのニーズが高まっています。町田市では、2005年度から教育時間及び預かり保育時間を合計して11時間以上、通年で開園する等の市が定める一定の条件を満たす預かり保育を実施している園に対し事業費の補助を行っています。 担当:子ども生活部子ども総務課

ファミリー・サポート・センター

子育てを支援するための「子育ての手助けをしてほしい人と(依頼会員)」と「子育ての協力をしてくれる人(援助会員)」との相互援助活動を行う会員組織です。

活動内容は、保育園・幼稚園の開始前または終了後の保育、保育園・幼稚園等への送迎、その他、子育てのための必要な援助(保育)等で、補助的、臨時的なものです。

担当:子ども生活部子育て支援課

- 2 - 個別目標2 サービスの質の向上と効果的・効率的な提供の充実

【個別目標の解説】

保育施設がサービスの質の向上と外部評価を行い、その結果が利用者に提供されるようにします。

公立保育園での「ISO9001」認証取得

保育サービスの質の向上と利用者の満足度の高い保育園経営を行うため、公立保育園におけるISO9001の認証取得の取り組みを進め、2007年3月に市立金森保育園が認証を取得しました。
担当: 子ども生活部子育て支援課

「ISO9001」とは……

ISOは、国際標準化機構が制定する国際規格です。「ISO9001」は、この国際規格のひとつでQMS(クオリティマネジメントシステム=組織の業務の品質を向上するための仕組み)と呼ばれます。QMSは業務の改善、効率化や新たな事業等の実施を目標に顧客のニーズを踏まえながら、業務の標準(Standard=スタンダード)をつくることから始まります。この標準に基づき、業務や事務を実施し、実施後に成果・効果の測定、分析を行います。その結果に基づいて改善を行い、改善点を加えた新たな業務標準をつくります。このサイクルを繰り返しながら業務を管理することがQMSです。

ISOの取得後、金森保育園では、各部門における責任の明確化、対保護者や職員間でのコミュニケーションの改善、伝達事項の確実性の向上などの効果が現れています。

今後は、各公立保育園がISO9001の考え方を取り入れながら、業務の改善を進めていきます。

重点目標3 きめ細やかな支援が必要な家族を支える

【重点目標の解説】

きめ細やかな支援が必要な子どもと家族が必要な支援を必要な時に受けることができるようにします。

- 3 - 個別目標1 障がいのある子どもと家族への支援

【個別目標の解説】

障がいのある子どもと家族がいろいろな生活の場面で必要な時に必要な支援を受けることができるようにします。

【すみれ教室通園児童数の推移(2004年度以降)】 (人)

	親子通園 部門	相談 部門	認可通園 部門
2004年度	132	409	40
2005年度	124	414	40
2006年度	119	491	40

*措置通園部門は、2006年10月より認可通園部門へ呼称を変更しています。

子ども発達センターすみれ教室

すみれ教室は、発達に遅れや心配のある就学前の乳幼児に対して、専門的な指導により、身体的・精神的な発達を助長し、基本的な生活習慣、社会への適応を図ることと、その保護者を支援することを目的としています。

その沿革は、1971年8月、心や身体にハンディキャップのある乳幼児の保護者から「市内に心身障がい児のための生活並びに訓練の場を作って欲しい」との切実な願いがきっかけとなって、同年12月「町田市心身障害児を守る会（すみれ会）」の結成と同時に、市から福祉会館の一室と機械器具の提供を受けて保護者運営の教室「すみれ教室」としてスタートし、障がいのある子どもを持つ親同士の連帯をつくる場としての役割をも果たしてきました。

その後、すみれ会から「未就学児の唯一の施設であるため一層の発展を」との要望を受け、1972年8月、旧さるびあ図書館を改造、移転。1972年10月に町田市療育機関として位置づけされ、職員と施設の充実を図り、1983年4月の「すみれ会館」の完成により全面移転し、親子通園施設として今日に至っています。

この30数年の間に、通園児の増加・低年齢化・幼稚園や保育園の受け入れの拡大、相談部門のニーズの増加などに対し、教室の規模は大きくなりサービス内容も多様になってきました。2004年4月、事業の一部を定員40名の措置通園部門（児童福祉法第7条に定める知的障害児通園施設）として開設し、施設の名称も「町田市子ども発達センターすみれ教室」と改めました。

障害者自立支援法の施行に伴い、2006年10月に児童福祉法が改正され、措置制度から契約方式に変わりました。これに伴い、当センターの措置通園部門も認可通園部門へ呼称を変更しました。

所在地 町田市中町 2-13-14

担当：子ども生活部すみれ教室

特別支援教育の取り組み

新しい障がい教育 特別支援教育への移行を円滑に図るため、特別な支援を要する児童・生徒に対するサポート体制の構築や特別支援教育の普及・啓発活動、研究奨励校によるモデル事業等を実施しました。

担当：学校教育部指導課教育センター

【用語解説：特別支援教育】

障がいのある児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、自立や社会参加に向け、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導や必要な支援を行うもの。「特別支援教育」においては、特殊教育の対象となっている児童生徒に加え、小・中学校の通常学級に在籍する学習障がい（LD）・注意欠陥・多動性障がい（ADHD）・高機能自閉症等の児童生徒に対しても適切な指導及び必要な支援を行う。

子ども生活部 2007年度の取り組みと予算

* すみれ教室の運営 1億1,756万円

* 私立幼稚園への障がい児の通園の促進（16園） 7,112万円

- 3 - 個別目標2 ひとり親家庭への支援

【個別目標の解説】

ひとり親家族が自立し、経済的な不安を持つことなく生活や子育てをすることができるようにします。

ひとり親家庭資格取得講習受講料の助成

ひとり親家庭の自立を総合的に支援するため、就労に関わる講習等を終了した方または、各学年を終了した方に専修学校等の授業料または、各種資格取得のための講習受講料の一部を助成し、ひとり親家庭の親の就労支援をします。

担当：子ども生活部子育て支援課

子ども生活部 2007年度の取り組みと予算

- *ひとり親家庭保護者の資格取得講習受講料補助 90万円
- *ひとり親家庭へのホームヘルパーの派遣 617万円
- *ひとり親家庭への医療費の助成 1億4,623万円

- 3 - 個別目標3 外国籍家族への支援

【個別目標の解説】

外国籍家族が言語・文化の違いやコミュニケーション不足についての不安を持つことなく生活や子育てをすることができるようにします。

外国語版子育て情報パンフレット

子育てについての相談、保育園、幼稚園、各種手当、健康診査等の子育て支援についての情報を簡潔にまとめた中国語のパンフレットを財団法人町田市文化・国際交流財団（国際交流センター）とボランティアの皆さんにご協力をいただき作成し、外国人登録の窓口等で配布しています（2005年度には、英語版を作成し、配布しています）。

担当：子ども生活部子ども総務課

子ども生活部 2007年度の取り組みと予算

- *外国語版子育て情報パンフレット「韓国・朝鮮語」版の作成と配布
財団法人町田市文化・国際交流財団（国際交流センター）とボランティアの皆さんにご協力を
いただき英語版、中国語版に続いて韓国・朝鮮語版を作成・配布します。

子ども教室・夏休み子ども教室

外国籍の児童・生徒を対象に土曜日や夏休みに日本語や教科の指導を行っています。

担当：財団法人町田市国際・文化交流財団

- 3 - 個別目標4 被虐待児(DV家族児童を含む)と家族への支援

【個別目標の解説】

虐待を受けた子どもと子どもを虐待した家族が立ち直るための支援を受けることができるようにします。

子ども家庭支援センター

子どもや家庭の問題に総合的に対応する相談機関です。0歳から18歳までのお子さんとその家庭のあらゆる相談に応じます。児童虐待をはじめとする子どもを取り巻く様々な問題に対処するため、関係機関や地域と緊密な連携をとりながら子育てを支援しています。

2006年度には、児童虐待の防止・予防のための啓発冊子「子育て奮闘記～しつけ それとも虐待!？」を作成し、配布しました。

ショートステイ、トワイライトステイ(P.41) 育児支援ヘルパー派遣等のサービスを行っています。また、センターには、小さいお子さんが親子で過ごせる交流スペースもあります。

所在地 町田市森野 3-11-16

担当:子ども生活部子育て支援課 子ども家庭支援センター

【子ども家庭支援センターの相談件数の推移】

年度	被虐待	養護	不登校	非行	発達	性格・その他	計
2002	84	189	39	9	10	11	342
2003	82	175	18	7	33	123	438
2004	81	215	30	7	14	69	416
2005	78	175	34	3	4	56	350
2006	97	318	138	10	14	322	899
(うち電話相談件数)	19	141	96	7	11	244	518

子ども生活部 2007年度の取り組みと予算

- * 子ども家庭支援センターの運営1,047万円
- * 子どものショートステイ・トワイライトステイ.....952万円
- * 育児支援ヘルパーの派遣 143万円

児童虐待の防止・予防のための啓発冊子
「子育て奮闘記～しつけ それとも虐待!？」



基本目標 子どもが地域の中で大切にされている

重点目標1 人と人が関わりつなげる場をつくる(家庭・施設・学校・地域・行政の協働)

【重点目標の解説】子育てをしている親と地域の人が、子どもは地域の支えあいの中で育つということを理解できるようにします。

子どもと子育てをしている家族が地域の人と絆を深めることができるようにします。

- 1 - 個別目標1 地域の人材育成と人材活用

【個別目標の解説】

青少年活動を指導することのできる大人と子ども(ジュニアリーダー等)が地域で育ち、地域で青少年を対象とした活動が活発に行われるようにします。

ジュニアリーダー講座

野外活動の基礎、各種ゲームやレクリエーション活動などを通して、地域や学校のリーダーに必要な知識等を学びます。講座は、Aコース(小4~小5、年8回の活動)、Bコース(Aコース修了者のうちの希望者、年13回の活動)、Cコース(Bコース修了者のうちの希望者、年14回の活動)の3コースで構成されています。なお、Cコースを修了した中高生の一部の方には、修了後も講座の運営にご協力をいただいています。

子どもサークルリーダー研修会

市内在住・在勤・在学の18歳以上の方や青少年に関わる各活動を実施している方を対象とした地域における青少年指導者の育成講座です。9月から12月の期間に子どもに関わる講義や実技などを中心に計12回のカリキュラムで実施しました。

担当:子ども生活部児童青少年課

地域子ども教室

国(文部科学省)が、地域の「子どもの居場所」づくりのために2004年より実施している事業です。学校の校庭や教室を使い、地域の方がスタッフとなって、各地域の教室で様々なプログラムを行う、地域・家庭・学校の連携による、「こどもの安全な居場所作り」です。この事業は、「東京都地域教育力再生プラン運営協議会」が国から委託を受け、さらに「町田市地域子ども教室推進事業実行委員会」が再委託を受けるという形で行われました。市が事務局となり、各地域の実行委員会が事業の主体となりました。

担当:生涯学習部社会教育課・子ども生活部児童青少年課

子ども生活部 2007年度の取り組みと予算

* 青少年教育のための事業(再掲)・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 360万円

【ジュニアリーダー講座、子どもサークルリーダー研修会など】

* 地域子ども教室への助成(5ヶ所)・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 285万円

* 冒険遊び場への補助(1ヶ所)・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 100万円

青少年委員

青少年教育の振興をはかるため、青少年の余暇指導や青少年団体の育成等に直接携わっている方の中から選ばれた24名の方に委嘱しています。任期は2年です。青少年委員は、市の教育行政の方針、諸施策を理解し、また、地域の青少年に関する活動を機会あるごとに把握し、青少年の余暇活動・団体活動の促進に必要な援助、青少年関係団体との連絡調整を行います。

担当：生涯学習部社会教育課

アダプト・ア・ロード

市が管理する道路施設等で自発的な管理活動を希望する市民活動団体と協定を締結して活動していただくものです。参加対象を限定しているものではありませんが、この事業において、市内の中高生が道路用地を利用して花壇を手がけています。

担当：建設部道路管理課

♪この個別目標を実現するために実施している他の主な事業♪

《生涯学習部》

☞図書館ボランティアの育成（図書館） ☞スポーツ団体指導者の育成（スポーツ課）

- 1 - 個別目標2 地元事業所・商店の関わり

【個別目標の解説】

子どもや子どもを持つ親が地元事業所・商店会・商店を利用した子育て支援を受けることができますようにします。

子どもセンターばあんの「子どもまつり」

子どもセンターばあんでは、子どもまつりとして「たんじょう祭」「夏祭り」「冬祭り」、（3大祭りと呼んでいます）を毎年行っています。このお祭りは、子ども委員会、運営委員会だけではなく、商店街・自治会・民生委員・郵便局・「ばあんの会」等地域の方々との協同による、地域のイベントとして実施しています。 担当：子ども生活部児童青少年課

- 1 - 個別目標3 体験できる場（多様な体験ができる機会を増やす）

【個別目標の解説】

子どもが様々な体験や人との関わりから学び成長していくことができるようにします。

青少年健全育成地区委員会

市内には24の地区に分けた青少年健全育成地区委員会があります。各地区のPTA・自治会・子ども会・各種団体等の代表者で構成された地域社会の力を結集した組織で、地区委員会ごとに青少年の状況についての情報交換、青少年を対象としたイベント、地域の青少年を取り巻く環境浄化及び環境整備のための活動・連絡調整を行っています。

担当：子ども生活部児童青少年課

のびっこあそび隊

子どもセンターのない地域に子どもセンターの遊びを紹介する事業で、高校生がボランティアとして活動することも意図しています。2006年度には、小山白山公園で9回実施しました。
担当:子ども生活部児童青少年課

忠生公園定例自然観察会・かしの木山自然公園夏休み子ども自然教室

忠生公園で昆虫、野鳥、樹木、野草等の観察会を毎月1回実施しました。また、かしの木山自然公園では、自然とふれあい、自然を学ぶ、「夏の楽しい一日教室(全4回)」を実施しました。
担当:環境・産業部公園緑地課

一日図書館員

夏休み期間中に、本の配架、カウンター業務、本の装備など図書館業務を体験する事業を中・高校生を対象に行い、のべ31人が参加しました。
担当:生涯学習部図書館

- 1 - 個別目標4 交流できる場(子どもや子育てしている人がふれあい情報交換できる場をふやす)

【個別目標の解説】

子どもや子どもを持つ親が身近な場所で様々な人と気軽に交流することができるようにします。

子どもが身近な場所で気兼ねなく時間を過ごすことができるようにします。

子どもセンター・子どもクラブ

「子どもの成長・発達を促す遊びの拠点」と「核家族化・少子化が進むなかでの子育て支援」を理念として、1999年5月子どもセンター1号館「ばあん」がオープン。2000年1月に「南大谷子どもクラブ」、2003年4月に「玉川学園子どもクラブこころこころ児童館」、2005年4月子どもセンター2号館「つるっこ」がオープンしました。乳幼児から高校生までが集える場として、来館者は「けがと弁当は自分持ち」の精神で、自分の責任で利用しています。市内に5館を目標に整備を進めており、2008年度には3号館が相原地区にオープンする予定です。また、忠生地区の子どもセンターの整備についても検討を始めています。

担当:子ども生活部児童青少年課

冒険遊び場への補助

冒険遊び場活動を行う団体に補助金を交付し、その活動を支援しました。2006年度は、「三ツ又冒険遊び場 たぬき山」を運営する「子ども広場あそべこどもたち」に補助金を交付しました。

用語解説:冒険遊び場 子どもたちの遊びの拠点として、地域の人たちを中心に運営されている「冒険遊び場」は、現在、全国で200ヶ所以上開催されています。

第一に、子どもたちの「やりたいと思う気持ち」を大切にしている遊び場です。

第二に、「木」「火」「土」「水」などの自然素材や工具・調理器具などを使って「実際にやってみることを大切にしている遊び場です。

第三に、プレーリーダーを中心に、乳幼児から、小中学生、青年期の若者、大人も含めて、様々な世代の「異年齢の人のつながり」ができ、「子育て支援」の場でもあります。

【三ツ又冒険遊び場 たぬき山ホームページより】 担当:子ども生活部児童青少年課

- 1 - 個別目標5 子どもセンター・地域子育てセンターを中心とした地域づくり

【個別目標の解説】

子どもセンターが地域の子どもの様々な活動の中心として動くことができるようにします。

子ども生活部 2007年度の取り組みと予算

* (仮称)相原子どもセンターの建設(再掲)・・・・・・・・・・1億6,440万円

【2008年度オープン予定】

* 冒険遊び場への補助(1ヶ所・再掲)・・・・・・・・・・100万円

* 青少年健全育成地区委員会活動への補助・・・・・・・・・・518万円

重点目標2 情報が確実に届く

【重点目標の解説】

子どもと子育て中の親が、必要とする時に必要な情報を得ることができるようにします。

- 2 - 個別目標1 子どもと親への情報を確保する

【個別目標の解説】

子どもと子育て中の親が必要とする時に必要な情報を得ることができるようにします。

子育てひろばカレンダー

「子育てひろばカレンダー」は、各保育園のいろいろなイベント情報等を市内4地域(南、町田、鶴川、堺・忠生)に分けて毎月紹介している情報紙です。掲載している保育園や各公共施設等で配布しています。また、町田市公式ホームページの「子育てひろばカレンダー」(下記URL)からもご覧いただけます。

<http://www.city.machida.tokyo.jp/kurashi/kodomo/hirokare/index.html>

担当:子ども生活部子育て支援課

町田市公式ホームページ・キッズページ

町田市の面積、人口、歴史、市役所の仕事、遊び場・学び場、イベント情報、相談コーナー紹介する子ども向けのホームページです(URLは下記)。

子ども生活部各課のメンバーを中心に毎月、担当者会議を開催し、キッズページの内容をより充実するための研究を行っています。

<http://www.city.machida.tokyo.jp/kids/>

担当:子ども生活部子ども総務課

子育て情報誌「のびっこ」

町田市の保育園・幼稚園、保健事業、手当・医療費助成制度、相談窓口、病院、公共施設などの子育て情報をまとめた冊子を作成し、3・4ヶ月健診の際に保護者に配布しました。

担当：子ども生活部子育て支援課



子育て情報誌 「のびっこ」

重点目標3 みんなで安全・安心のまちをつくる

【重点目標の解説】

子どもや乳幼児を育てている親が地域や家庭で安心して日常生活を送ることができるようにします。

- 3 - 個別目標1 子どもの安全・安心を確保する

【個別目標の解説】

子どもが地域や家庭で事故や事件に遭う心配をすることなく日常の生活を送ることができるようにします。

子ども110番の家

子どもが危険に直面した際に緊急避難先として駆け込むことができる建物であることを示す看板の設置を各小学校PTAや自治会・町内会とともにすすめています。また、市内郵政公社のバイク及び集配車にも「子ども110番」のシート・ステッカーを掲示しています。なお、看板設置協力者が被害にあった場合の保険の加入も行っています。

担当：子ども生活部児童青少年課

子ども生活部 2007年度の取り組みと予算

* 「子ども110番の家」看板作成と傷害保険料 44万円

自転車運転教室

各小学校・団体等からの申込みを受け、町田警察署と共催で自転車運転教室を開催しています。交通安全教育講習・自転車実技講習・筆記試験を受けた、小学校3年生以上の子どもに「町田市自転車運転免許証」を交付します。

担当：建設部交通安全課

セーフティ教室

公立小学校、中学校で保護者・市民の参加のもとに、家庭・学校・地域社会の連携による非行・犯罪被害防止のためのセーフティ教室を行いました。 担当: 学校教育部指導課

♪この個別目標を実現するために実施している他の主な事業♪

《市民部》⇒市民の自主的なパトロールへの支援等（安全対策課）

《学校教育部》⇒小・中学校の児童・生徒への防犯ブザーの貸与（教育総務課）

- 3 - 個別目標2 子育てしやすいまちづくりをする

【個別目標の解説】

幼児や乳幼児を連れた親がまちの中を容易に移動できるようにします。

乳幼児を連れた親が外出中に外出先で子どもの世話を容易にできるようにします。

乳幼児を持つ親が必要なときに子どもを預けて外出することができるようにします。

みんなのおでかけマップ

町田市の補助を受けてNPO法人が運営しているホームページ「町田市バリアフリーマップ」の情報のうち「みんなのトイレ」が整備された施設を基本に外出支援情報を掲載した冊子です。「みんなのトイレ」の他に授乳室、車いす対応駐車場等についても記載しています。また、公共施設の多い町田駅周辺については、地図上に施設等の位置とバリアフリー情報を表示しています。

みんなのトイレ 車いす使用者をはじめ、障がい者・高齢者・乳幼児を連れた方等のみんなが利用できる大きさ・機能・設備等のあるトイレです（施設により介助が必要な場合があります）

町田市バリアフリーマップ：<http://www.barrierfree-machida.com/>

担当: 健康福祉部福祉総務課

♪この個別目標を実現するために実施している他の主な事業♪

《健康福祉部》⇒福祉のまちづくりの推進（福祉総務課）

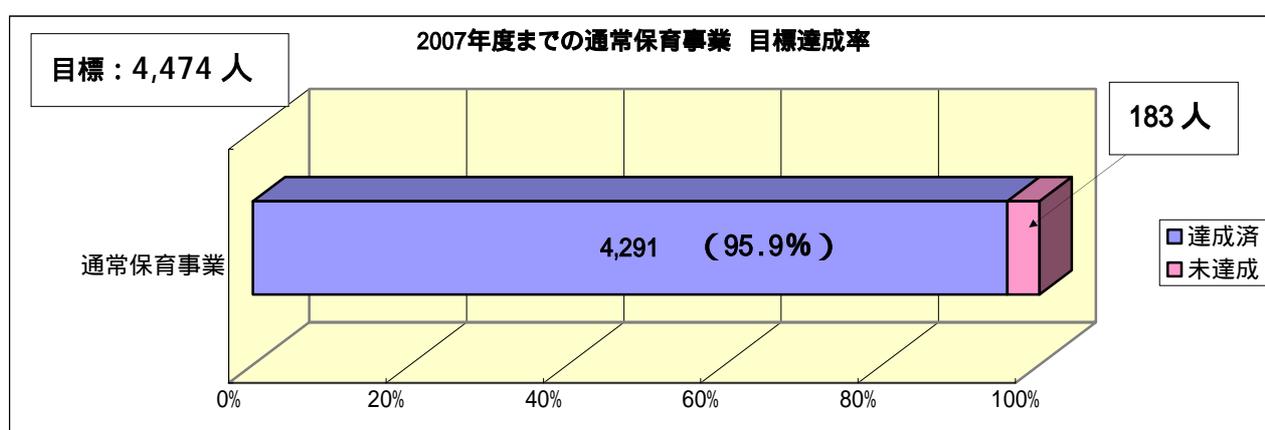
《建設部》⇒放置自転車対策（交通安全課）

5. 次世代育成支援対策推進法による特定14事業の状況

町田市子どもマスタープランは、次世代育成支援対策推進法に基づく町田市の行動計画を含むものとして策定されています。行動計画の目標設定にあたっては、利用者等のニーズを踏まえ、可能な限り定量的に示し、具体的な目標を設定することが求められています。

1. 通常保育事業の目標量と実績

年度	2005	2006	2007	2008	2009
定員(人)	4,116	4,259	4,474	4,474	4,474
実績	4,126	4,236	4,291		



【参考】 認証保育所

年度	2005	2006	2007	2008	2009
定員(人)	162	267	267	267	267
実績	127	191	209		

保育室

年度	2005	2006	2007	2008	2009
定員(人)	35	35	35	35	35
実績	35	35	24		

家庭福祉員

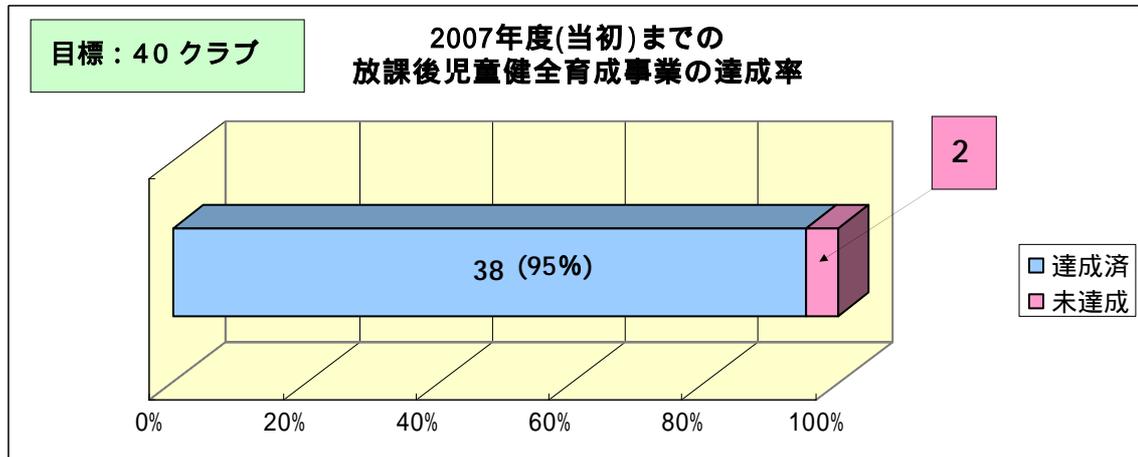
年度	2005	2006	2007	2008	2009
定員(人)	9	49	49	49	49
実績	11	11	21		

私立幼稚園の預かり保育への補助(市単独事業)

年度	2005	2006	2007	2008	2009
幼稚園数	35	35			
補助対象園	5	6	7		

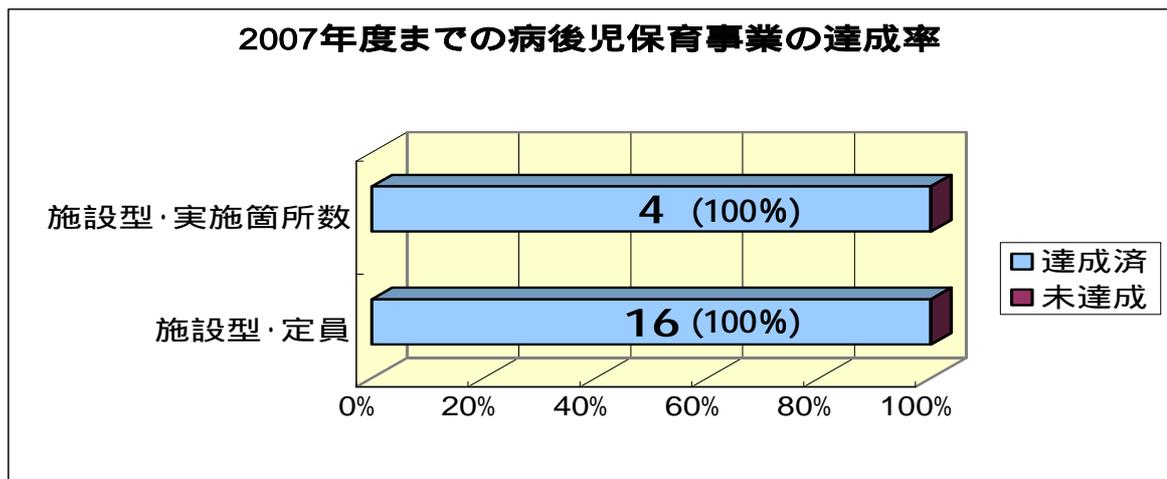
2. 放課後児童健全育成事業（学童保育クラブ）の目標量と実績

年度	2005	2006	2007	2008	2009
実施箇所数	35	36	37	39	40
実績	35	36	38		



3. 病後児保育事業（施設型）の目標量と実績

年度	2005	2006	2007	2008	2009
定員	16	16	16	16	16
実績	16	16	16		
実施箇所数	4	4	4	4	4
実績	4	4	4		



4. 病後児保育事業（訪問型） 今後の検討課題とする

5. 一時保育事業の目標量と実績

年度	2005	2006	2007	2008	2009
定員	210	230	230	230	230
実績	251	273	280		
実施箇所数	21	23	23	23	23
実績	28	29	34		

6. 延長保育事業の目標量と実績

年度	2005	2006	2007	2008	2009
1時間延長実施園	34	34	34	34	34
実績	34	33	33		
2時間延長実施園	11	13	14	14	14
実績	11	13	13		
3～4時間延長実施園	1	1	1	1	1
実績	2	2	2		

7. 休日保育事業の目標量と実績

年度	2005	2006	2007	2008	2009
定員	20	20	20	20	20
実績	20	20	20		
施設数	1	1	1	1	1
実績	1	1	1		

8. 子どものショートステイ事業の目標量と実績

年度	2005	2006	2007	2008	2009
定員	6	6	6	6	6
実績	6	6	6		
施設数	1	1	1	1	1
実績	1	1	1		

ショートステイ、トワイライトステイ

ショートステイ（おおむね2歳～12歳） 保護者の病気や出産、家族の介護などで一時的に養育ができなくなった時に、家庭的な環境でお子さんを短期間お預かりする事業です。

トワイライトステイ（おおむね2歳～12歳） 仕事等で保護者の帰宅が遅くなる時に、夜10時までお預かりする事業です。

子ども家庭支援センターで利用相談を受け付けます。

担当：子ども生活部子育て支援課

9. 子どものトワイライトステイ事業の目標量と実績

年度	2005	2006	2007	2008	2009
定員	6	6	6	6	6
実績	5	5	5		
施設数	1	1	1	1	1
実績	1	1	1		

10. 地域子育て事業（保育園の子育てひろば事業）の目標量と実績

年度	2005	2006	2007	2008	2009
実施園数	22	23	25	25	25
実績	20	20	19		

*1園が「集いの広場」事業に移行したため2007年度は減となった。

11. 集いの広場事業の目標量と実績

年度	2005	2006	2007	2008	2009
実施箇所数	1	1	1	1	1
実績	1	1	2		

12. 特定保育事業（未実施）

13. 夜間保育事業（未実施）

14. ファミリー・サポート・センター事業の目標量と実績

年度	2005	2006	2007	2008	2009
依頼	1,945	2,078			
援助	554	577			
依頼・援助とも	135	152			
利用件数	14,898	15,693			

6. 子どもマスタープランの施策体系外の子どもに関わる事業

子育てのための支援

1. 児童手当の支給（子ども生活部子ども総務課）
2. 乳幼児医療費の助成（子ども生活部子ども総務課）
3. 入院助産費用の助成（子ども生活部子育て支援課）

ひとり親家庭への子育てための支援

1. 児童扶養手当の支給（子ども生活部子ども総務課）
2. 児童育成手当の支給（子ども生活部子ども総務課）
3. ひとり親家庭等医療費の助成（子ども生活部子ども総務課）

障がい児・者への支援（2007年4月より健康福祉部障がい福祉課で担当）
特別児童手当、心身障害者福祉手当、障害児福祉手当、特別障害者福祉手当、
重度心身障害者手当の支給等

子どもの健康に関すること（健康福祉部健康課）

1. 予防接種
2. 乳幼児栄養食品の支給
3. 準夜救急こどもクリニック

幼稚園に関する補助（子ども生活部子ども総務課）

1. 幼稚園就園奨励費補助
2. 私立幼稚園等園児保護者補助

その他

1. 幼児教育手当（子ども生活部子ども総務課）

7. 町田市の組織



町田市組織図

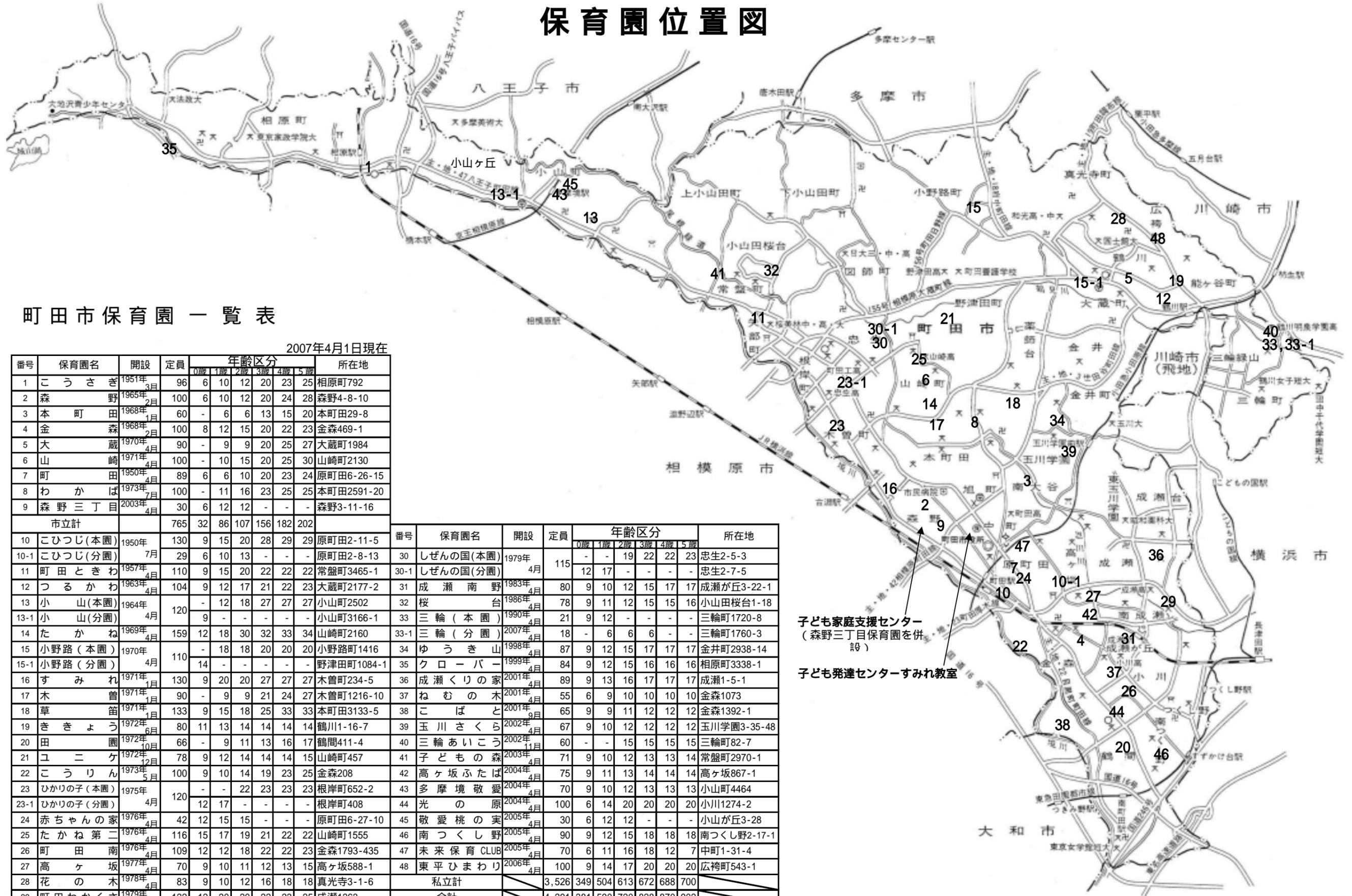
(本書に特に関係する部署については太字で記載しています)

(2007年4月1日現在)



市民病院

保育園位置図



町田市保育園一覧表

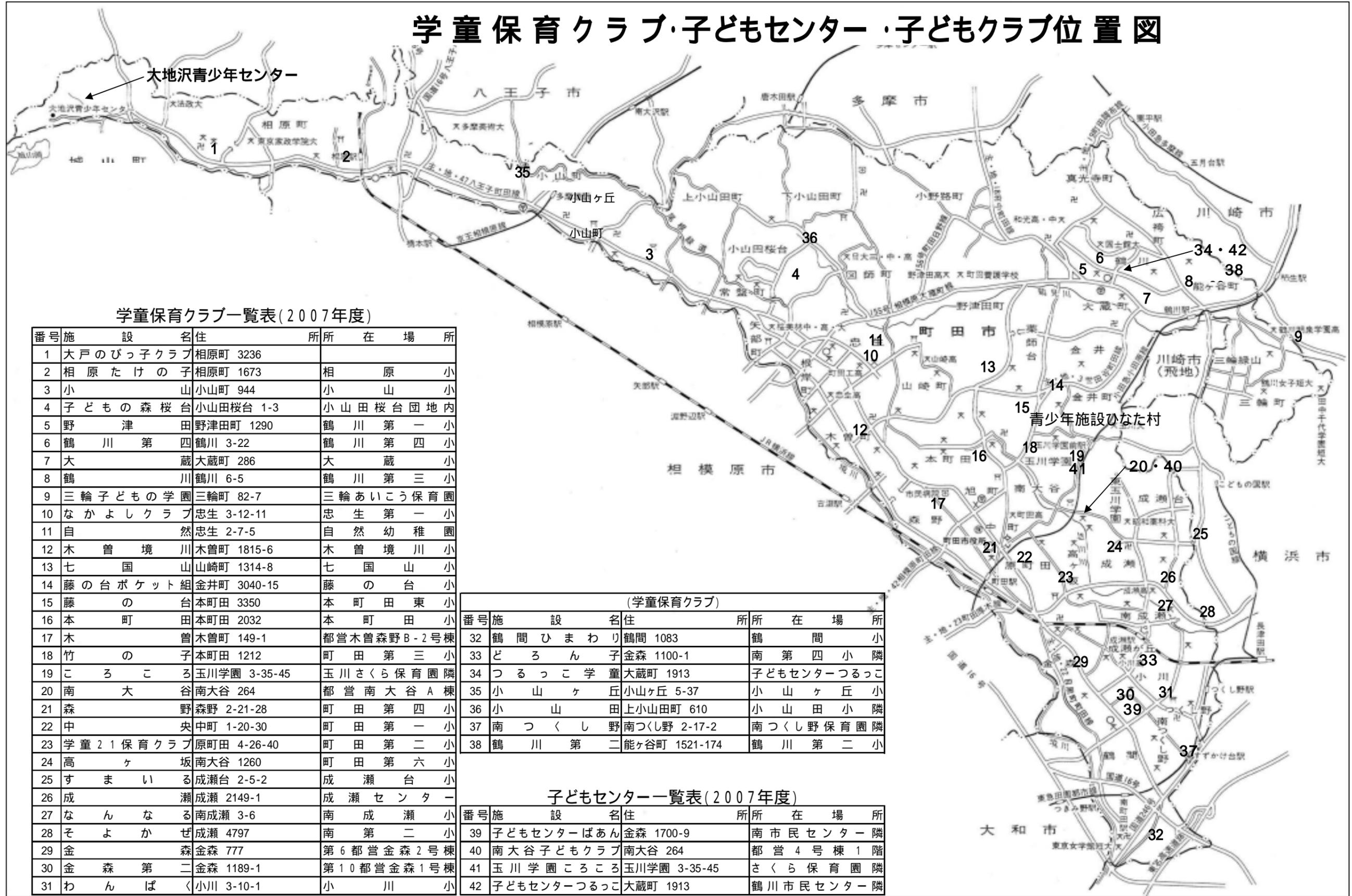
2007年4月1日現在

番号	保育園名	開設	定員	年齢区分					所在地	
				0歳	1歳	2歳	3歳	4歳		5歳
1	こうさぎ	1951年3月	96	6	10	12	20	23	25	相原町792
2	森野	1965年2月	100	6	10	12	20	24	28	森野4-8-10
3	本町田	1968年1月	60	-	6	6	13	15	20	本町田29-8
4	金森	1968年2月	100	8	12	15	20	22	23	金森469-1
5	大蔵	1970年4月	90	-	9	9	20	25	27	大蔵町1984
6	山崎	1971年4月	100	-	10	15	20	25	30	山崎町2130
7	町田	1950年4月	89	6	6	10	20	23	24	原町田6-26-15
8	わかば	1973年7月	100	-	11	16	23	25	25	本町田2591-20
9	森野三丁目	2003年4月	30	6	12	12	-	-	-	森野3-11-16
市立計			765	32	86	107	156	182	202	
10	こひつじ(本園)	1950年7月	130	9	15	20	28	29	29	原町田2-11-5
10-1	こひつじ(分園)		29	6	10	13	-	-	-	原町田2-8-13
11	町田ときわ	1957年4月	110	9	15	20	22	22	22	常盤町3465-1
12	つるか	1963年4月	104	9	12	17	21	22	23	大蔵町2177-2
13	小山(本園)	1964年4月	120	-	12	18	27	27	27	小山町2502
13-1	小山(分園)		9	-	-	-	-	-	-	小山町3166-1
14	たかね	1969年4月	159	12	18	30	32	33	34	山崎町2160
15	小野路(本園)	1970年4月	110	-	18	18	20	20	20	小野路町1416
15-1	小野路(分園)		14	-	-	-	-	-	-	野津田町1084-1
16	すみれ	1971年1月	130	9	20	20	27	27	27	木曾町234-5
17	木曾	1971年1月	90	-	9	9	21	24	27	木曾町1216-10
18	草笛	1971年1月	133	9	15	18	25	33	33	本町田3133-5
19	ききょう	1972年6月	80	11	13	14	14	14	14	鶴川1-16-7
20	田園	1972年10月	66	-	9	11	13	16	17	鶴間411-4
21	ユニケ	1972年12月	78	9	12	14	14	14	15	山崎町457
22	こうりん	1973年5月	100	9	10	14	19	23	25	金森208
23	ひかりの子(本園)	1975年4月	120	-	-	22	23	23	23	根岸町652-2
23-1	ひかりの子(分園)		12	17	-	-	-	-	-	根岸町408
24	赤ちゃんの家	1976年4月	42	12	15	15	-	-	-	原町田6-27-10
25	たかね第二	1976年4月	116	15	17	19	21	22	22	山崎町1555
26	町田南	1976年4月	109	12	12	18	22	22	23	金森1793-435
27	高ヶ坂	1977年4月	70	9	10	11	12	13	15	高ヶ坂588-1
28	花の木	1978年4月	83	9	10	12	16	18	18	真光寺3-1-6
29	町田わかくさ	1979年4月	122	12	20	20	22	23	25	成瀬1263
私立計			3,526	349	504	613	672	688	700	
合計			4,291	381	590	720	828	870	902	

子ども家庭支援センター
(森野三丁目保育園を併設)

子ども発達センターすみれ教室

学童保育クラブ・子どもセンター・子どもクラブ位置図



学童保育クラブ一覧表(2007年度)

番号	施設名	住所	所在地	場所
1	大戸のびっ子クラブ	相原町 3236		
2	相原たけの子	相原町 1673	相原	小
3	小山	小山町 944	小山	小
4	子どもの森桜台	小山田桜台 1-3	小山田桜台団地内	
5	野津田	野津田町 1290	鶴川第一小	
6	鶴川第四	鶴川 3-22	鶴川第四小	
7	大蔵	大蔵町 286	大蔵小	
8	鶴川	鶴川 6-5	鶴川第三小	
9	三輪子どもの学園	三輪町 82-7	三輪あいこう保育園	
10	なかよしクラブ	忠生 3-12-11	忠生第一小	
11	自然	忠生 2-7-5	自然幼稚園	
12	木曾境川	木曾町 1815-6	木曾境川小	
13	七国山	山崎町 1314-8	七国山小	
14	藤の台ポケット組	金井町 3040-15	藤の台小	
15	藤の台	本町田 3350	本町田東小	
16	本町田	本町田 2032	本町田小	
17	木曾	木曾町 149-1	都営木曾森野B-2号棟	
18	竹の子	本町田 1212	町田第三小	
19	ころころ	玉川学園 3-35-45	玉川さくら保育園隣	
20	南大谷	南大谷 264	都営南大谷A棟	
21	森野	森野 2-21-28	町田第四小	
22	中央	中町 1-20-30	町田第一小	
23	学童21保育クラブ	原町田 4-26-40	町田第二小	
24	高ヶ坂	南大谷 1260	町田第六小	
25	すまいる	成瀬台 2-5-2	成瀬台小	
26	成瀬	成瀬 2149-1	成瀬センター	
27	なんなる	南成瀬 3-6	南成瀬小	
28	そよかぜ	成瀬 4797	南第二小	
29	金森	金森 777	第6都営金森2号棟	
30	金森第二	金森 1189-1	第10都営金森1号棟	
31	わんぱく	小川 3-10-1	小川小	

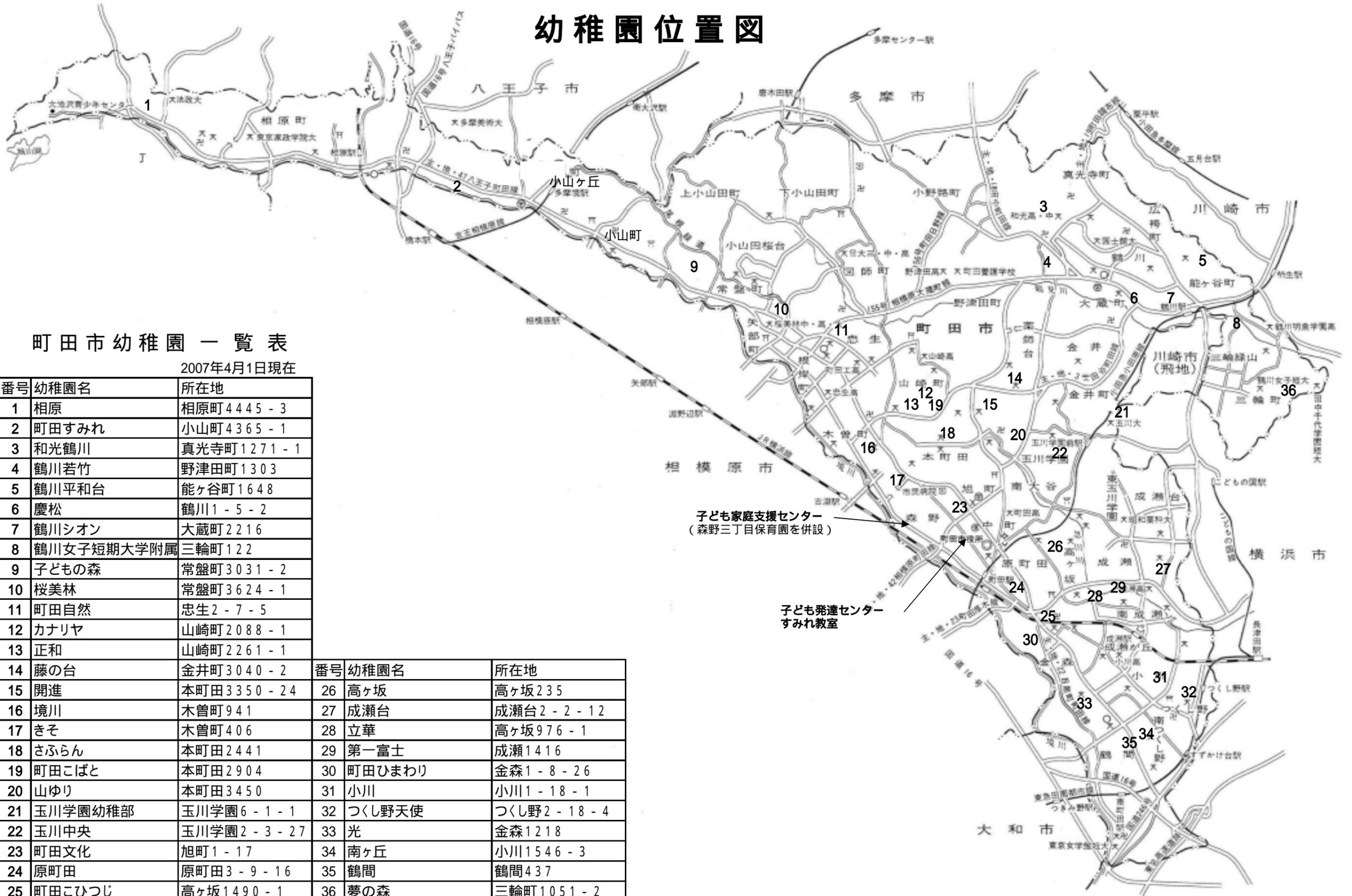
(学童保育クラブ)

番号	施設名	住所	所在地	場所
32	鶴間ひまわり	鶴間 1083	鶴間	小
33	どろん子	金森 1100-1	南第四小隣	
34	つるっこ学童	大蔵町 1913	子どもセンターつるっこ	
35	小山ヶ丘	小山ヶ丘 5-37	小山ヶ丘小	
36	小山田	上小山田町 610	小山田小隣	
37	南つくし野	南つくし野 2-17-2	南つくし野保育園隣	
38	鶴川第二	能ヶ谷町 1521-174	鶴川第二小	

子どもセンター一覧表(2007年度)

番号	施設名	住所	所在地	場所
39	子どもセンターばあん	金森 1700-9	南市民センター隣	
40	南大谷子どもクラブ	南大谷 264	都営4号棟1階	
41	玉川学園ころころ	玉川学園 3-35-45	さくら保育園隣	
42	子どもセンターつるっこ	大蔵町 1913	鶴川市民センター隣	

幼稚園位置図



町田市幼稚園一覧表

2007年4月1日現在

番号	幼稚園名	所在地	番号	幼稚園名	所在地
1	相原	相原町4445-3	26	高ヶ坂	高ヶ坂235
2	町田すみれ	小山町4365-1	27	成瀬台	成瀬台2-2-12
3	和光鶴川	真光寺町1271-1	28	立華	高ヶ坂976-1
4	鶴川若竹	野津田町1303	29	第一富士	成瀬1416
5	鶴川平和台	能ヶ谷町1648	30	町田ひまわり	金森1-8-26
6	慶松	鶴川1-5-2	31	小川	小川1-18-1
7	鶴川シオン	大蔵町2216	32	つくし野天使	つくし野2-18-4
8	鶴川女子短期大学附属	三輪町122	33	光	金森1218
9	子どもの森	常盤町3031-2	34	南ヶ丘	小川1546-3
10	桜美林	常盤町3624-1	35	鶴間	鶴間437
11	町田自然	忠生2-7-5	36	夢の森	三輪町1051-2
12	カナリヤ	山崎町2088-1			
13	正和	山崎町2261-1			
14	藤の台	金井町3040-2			
15	開進	本町田3350-24			
16	境川	木曾町941			
17	きそ	木曾町406			
18	さふらん	本町田2441			
19	町田こぼと	本町田2904			
20	山ゆり	本町田3450			
21	玉川学園幼稚部	玉川学園6-1-1			
22	玉川中央	玉川学園2-3-27			
23	町田文化	旭町1-17			
24	原町田	原町田3-9-16			
25	町田こひつじ	高ヶ坂1490-1			

本書に対するご意見等ございましたら、下記の子ども総務課
までお寄せください。

まちだの子ども施策 2007年度

発行年月 2007年8月

刊行物番号 07 42

発行 町田市

〒194-8520 町田市中町 1-20-23

TEL 042-722-3111 (代表)

編集 子ども生活部子ども総務課

TEL 042-724-2876 (直通)